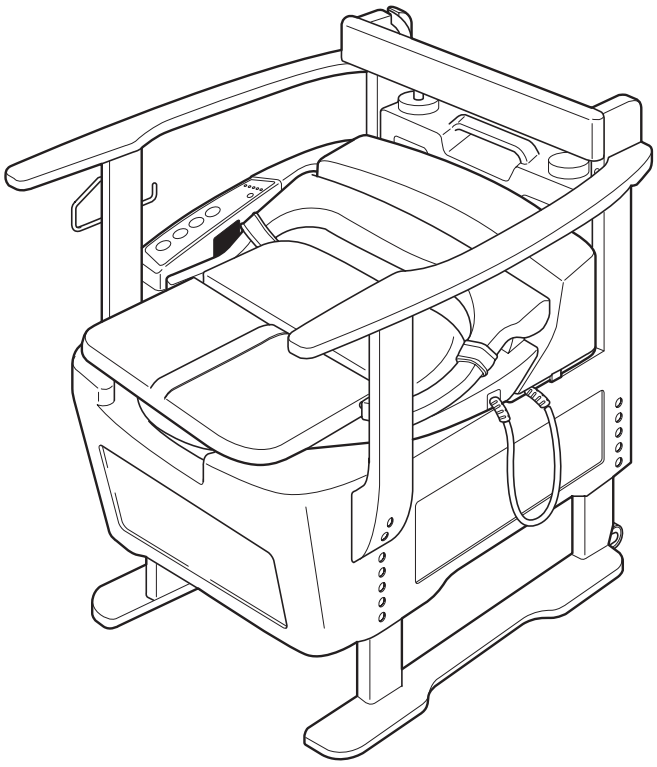
TOTO

取扱説明書 保証書付

ウォシュレット付
ポータブルトイレ

品番	EWR290 EWRS290（らくらくリモコン付き）



◆このたびは、ウォシュレット付ポータブルトイレをお求めいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

◆保証書に、取付店名、取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。

◆この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

はじめに

安全上のご注意…… 1
使用上のご注意…… 4
同梱部品の確認…… 5
各部のなまえ…… 6
ご使用前の準備と確認…… 7

使いかた

バケツの着脱方法…… 14
給水方法…… 16
標準的な使いかた…… 18
汚物の処理…… 25
移動の仕方…… 26

お手入れ

日常のお手入れ…… 27
念入りなお手入れ…… 29
電源プラグのお手入れと点検…… 33
長期間使用しないとき…… 34

こんなときは

故障かな？と思ったら…… 35
アフターサービス…… 38
定期的な点検…… 40
仕様・補修用性能部品…… 42

保証書…… 46
お問い合わせ先…… 裏表紙

安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
●この説明書では、商品をお使いになる方や周りの方々への危害や、財産への損害を未然に防止するための安全上の注意事項を表示しています。
その表示と意味は次のようになっています。

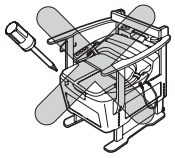
表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

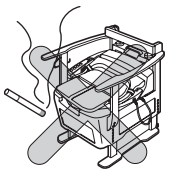
分解禁止	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠警　告

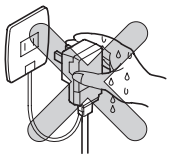
分解禁止
修理技術者以外の人は分解、修理、改造を行わない
火災や感電の原因になります。



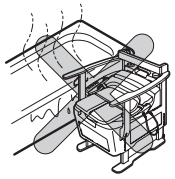
火気禁止
たばこなどの火気類を近づけない
火災の原因になります。



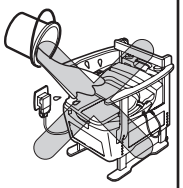
ぬれ手禁止
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。



水場使用禁止
浴室など湿気の多い場所には使用しない
火災や感電の原因になります。

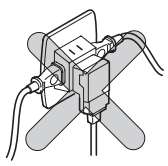


水かけ禁止
ウォシュレット、電源プラグに水や洗剤をかけない
火災や感電の原因になります。



禁止
指定する電源（交流100V）以外では使用しない
火災の原因になります。

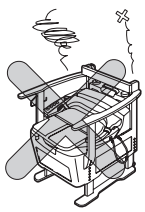
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止
故障したままで商品を使用し続けない
・次のようなときは、電源プラグを抜き、給水タンクの水を抜いてください。

故障とは…
・商品から水漏れしている
・商品から異音、異臭がしている
・商品が異常に熱い
・商品から煙が出ている
・商品にひびや割れが入っている

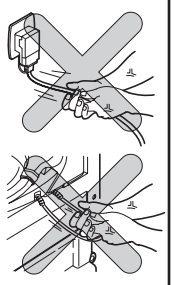
・故障したまま使い続けると、けがをしたり、火災や感電、室内浸水の原因になります。



電源プラグのコードや便座コードを破損するようなことはしない

傷つけない、加工しない、加熱しない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない、重いものを載せない、束ねない、いすと便座の間にはさまない

傷んだまま使用すると火災、感電、ショートの原因になります。



ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因になります。

給水タンクにお湯を入れない
やけどをする原因になります。

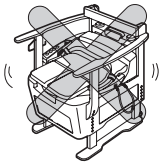
人を乗せた状態でいすごと持ち上げたり、移動させない
転倒したり、破損してけがをする原因になります。

⚠ 警　告

禁止

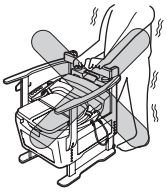
体重が100kgを超える方は使用しない
転倒したり、破損してけがをする原因になります。

高さ調整脚、アームレスト、ショートグリップの取付ボルトがゆるんだ状態で使用しない
破損してけがをする原因になります。

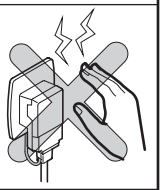


アームレストを背もたれとして使用しない
転倒したり、破損してけがをする原因になります。

本体を手すりの代わりに使用しない
転倒したり、破損してけがをする原因になります。

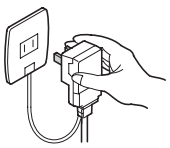


雷が発生しているときは、電源プラグに触れない
感電の原因になります。



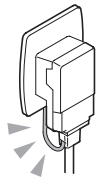
プラグ抜き励行

お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。



アース接続

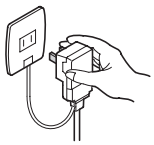
アース(D種接地)工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき感電する原因になります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



必ず実行

電源プラグの刃などについたホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む
火災や感電の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く
コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



低温やけどに注意する
・長い時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。
・次のような方が暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」にしてください。

・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度に調節できない方
・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方、深酒をされた方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方

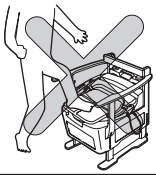
必ず平坦な場所に設置する
転倒してけがをする原因になります。

⚠ 注　意

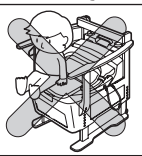
禁止

給水タンクに水道水以外は使用しない
消毒液、薬品、芳香剤などを入れない
皮膚の炎症などを起こす原因になります。

商品の上に立ち上がったり、重いものを載せない、踏み台として使用しない、強い衝撃を加えない
転倒したり、破損してけがをする原因になります。

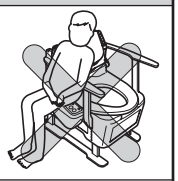


幼児や自分で操作できない方には使用させない
思わぬ事故の原因になります。



禁止

操作部に寄りかからない
破損してけがをする原因になります。



お手入れをするときは、薄めた台所用洗剤(中性)を使用し、次のものは使わない

トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナーおよびクレンザー、ナイロンたわしなど

・破損してけがをする原因になります。
・給水ホースを傷め、水漏れの原因になります。

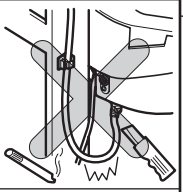
⚠ 注　意

禁止

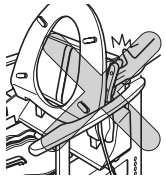
便座をつかんで持ち上げない
ウォシュレットの本体が外れて落下し、けがをする原因になります。

商品の上に飛び乗らない
転倒したり、破損してけがをする原因になります。

給水ホースに傷をつけない
水漏れの原因になります。



いす座面などのすき間には手や指を入れない
けがをする原因になります。

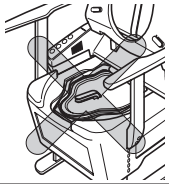


バケツ内の上のラインを超える容量の水や汚物を受けない
バケツ内の水や汚物があふれ、床などを汚す原因になります。

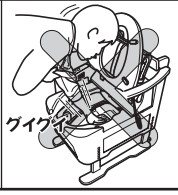
ウォシュレット本体部や操作部、いす座面の枠に座らない
破損やけがをする原因になります。

いす座面を2つ折りにしない状態で背もたれとして使用しない
けがをする原因になります。

バケツふたを装着した状態でウォシュレットの洗浄機能を使用しない
洗浄水が飛散し、床などをぬらす原因になります。

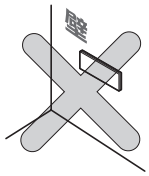


防滴トレイをふくときは体重をかけない
破損してけがをする原因になります。



禁止

面ファスナーは本製品以外の塗装された家具や壁紙を貼った壁に貼り付けない
塗装や壁紙をはがす原因になります。

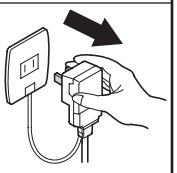


男子小用のときに立ったままで使用しない
- 小便がウォシュレットの洗浄ノズルにかかると故障の原因になります。
- 小便が木部にかかるとにおいの原因になります。

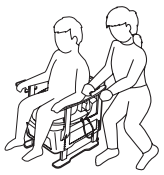
禁止

リモコンを本体以外に取り付けている場合、本体の移動の際にはリモコンを取り外してから移動する
破損やけがをする原因になります。

長期間使用しないときは水を抜き、電源プラグを抜く
再使用するとき、水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因になります。

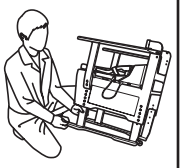


使用者が自分自身で身体を十分に安定させられない場合は、介助者が付き添うなどして安全を十分に確保する
転倒したり、破損してけがをする原因になります。



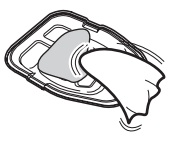
必ず実行

高さ調整脚の高さ調整をする場合は、前後左右を同じ高さにする
転倒してけがをする原因になります。



バケツ、防滴トレイを正しく装着して使用する
小便やウォシュレットの洗浄水が飛散し、床などをぬらす原因になります。

防滴トレイを取り出すときは、水分をふき取ってから取り出す
溜水がこぼれて床などをぬらす原因になります。



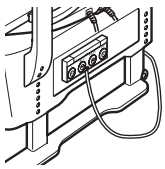
凍結による破損の予防を行う
- 凍結すると給水ホースやウォシュレット内部が破損して、水漏れの原因になります。
- 凍結による破損の予防は34ページをご覧ください。

⚠ 注　意

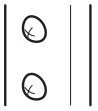
必ず実行

商品を移動する場合は、バケツと防滴トレイの水や汚物を処理してから移動する
バケツや防滴トレイの水や汚物がこぼれ、床を汚す原因になります。

電源コードやリモコンコードの取り回しに注意する
コードが足にからまり、転倒してけがをする原因になります。

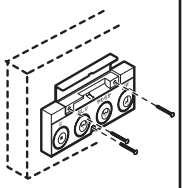


ねじ止めする際は、ねじ頭にバリが出ないように注意する
けがをする原因になります。



敷居などの床段差を越えるときは、商品を持ち上げる
敷居や床を傷めたり、破損の原因になります。

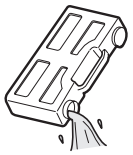
取付ねじでリモコンを取り付ける場合、合板などの木材に取り付ける
取り付けが不安定になり、落下してけがや破損をする原因になります。



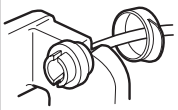
商品を移動する際に本体の脚に挟まれないように注意する
けがをする原因になります。

必ず実行

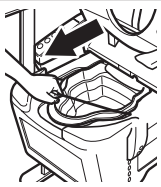
ウォシュレットの給水タンクの水は毎日入れ替える
水質悪化により、皮膚の炎症などをおこす原因になります。



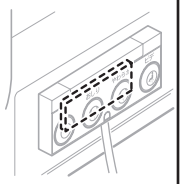
外した給水口が内側を向くように固定する
給水ホース内の水が落ちて床などをぬらす原因になります。



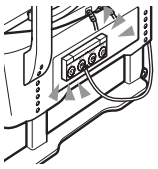
バケツを取り出す際は、前に引き出してから持ち上げる
バケツが水受け板に接触し、中の汚物をこぼす原因になります。



面ファスナーでリモコンを着脱する場合、お互いの面ファスナーがずれないようにしっかり密着させる
取り付けが不安定になり、落下してけがや破損をする原因になります。



面ファスナーでリモコンを取り付ける場合、移乗や介護の邪魔にならない位置に取り付ける
落下してけがや破損をする原因になります。



木部に小便や給水タンクの水など水分がかかった場合は、すぐに拭き取る
においや破損の原因になります。

使用上のご注意

●次のことをお守りください。

操作部側面の着座センサーを覆わない
着座センサーがはたらかなくなり、暖房便座が自動的に切れます。

本体や部品を屋外で乾かさない
破損の原因になります。

ラジオなどは商品から離して使う
ラジオに雑音が入ることがあります。

直射日光が当たらないようにする
変色や暖房便座の温度ムラが生じる原因になります。

給水タンクが空の状態で洗浄機能を使用しない
故障の原因になります。

給水口には必ず給水フィルターを組み込む
異物が混入してウォシュレットの故障の原因になります。

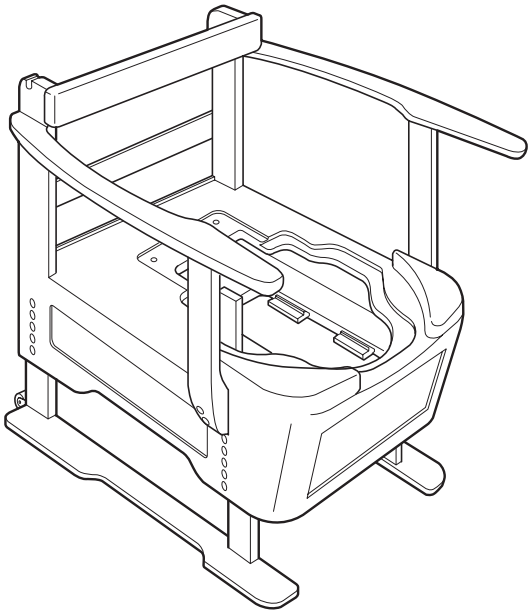
ウォシュレットを使用する際は、給水ホースを押しつぶさない
ウォシュレットの破損の原因になります。

ウォシュレットは乾いた布やトイレットペーパーなどでふかない
傷つきの原因になります。

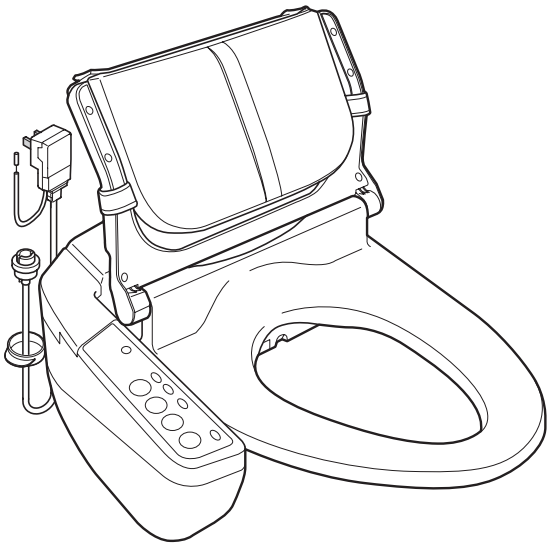
電動ドライバーは使用しない
破損の原因になります。

同梱部品の確認

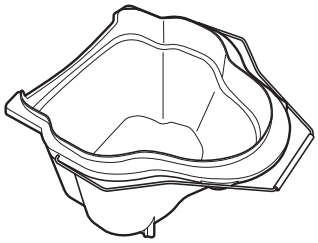
①いす



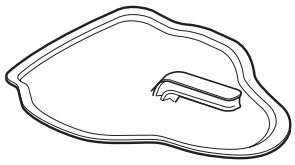
②ウォシュレット（便座）



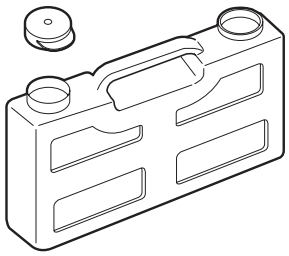
③バケツ



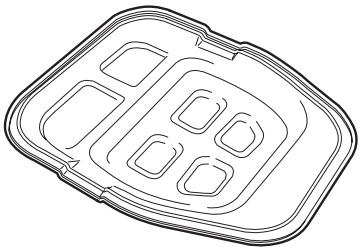
④バケツふた



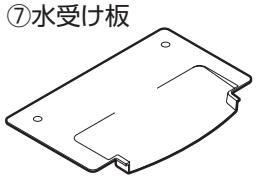
⑤給水タンク（キャップ付き）



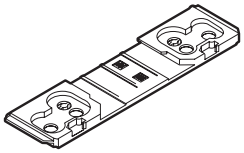
⑥防滴トレイ



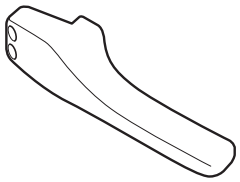
⑦水受け板



⑧ベースプレート

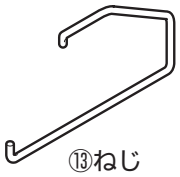


⑨ショートグリップ



⑩ボルト
（M6×80）1本

⑪ペーパーホルダー



⑫取付金具

⑬ねじ
（φ3×12）
2本

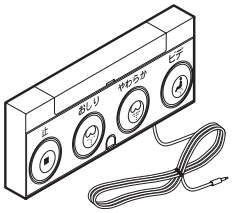
⑭六角レンチ

六角レンチ 1本
（対辺4mm）

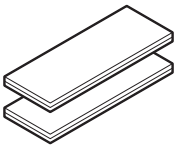
⑮取扱説明書

らくらくリモコンセット(EWRS290に付属)：別梱包

⑯らくらくリモコン



⑰面ファスナー
（1組）

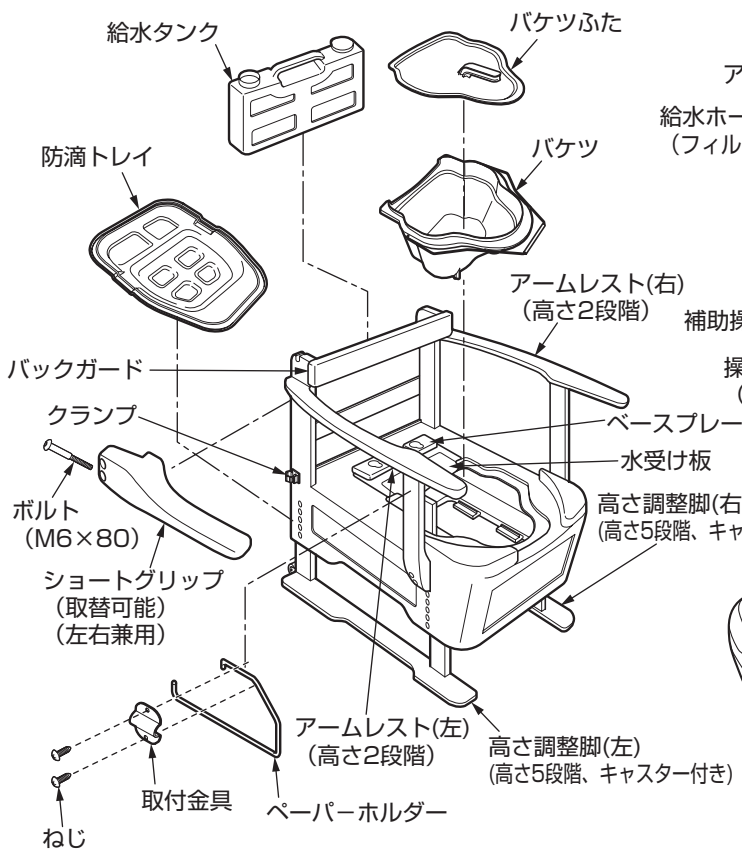


⑱リモコン取付ねじ
（φ3×16）3本

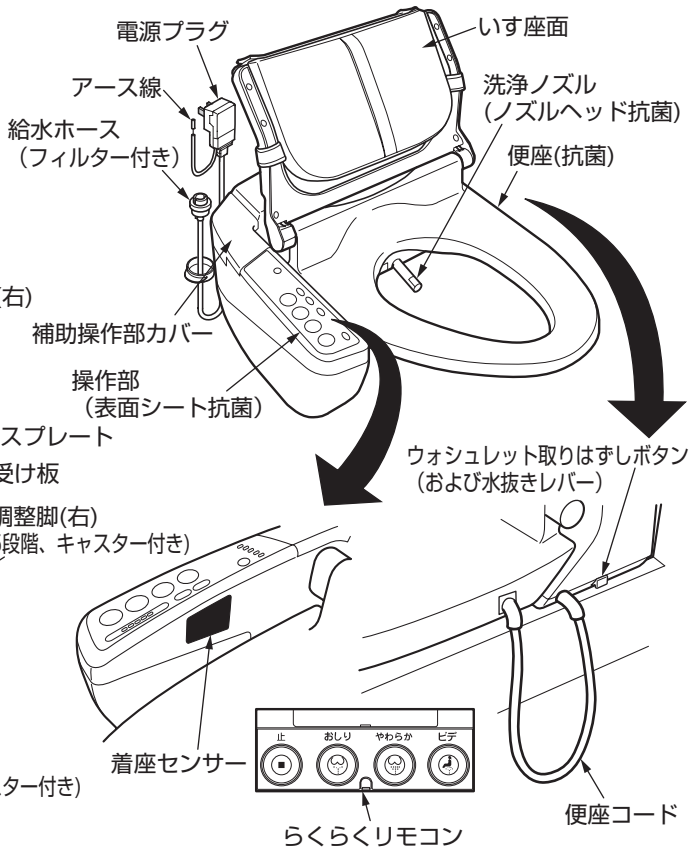
※いす部は天然木のため、木目・色調は商品によりばらつきがありますがご了承ください。
※バケツ、給水タンク、防滴トレイはテープで仮止めしてあります。はがしてご使用ください。

各部のなまえ

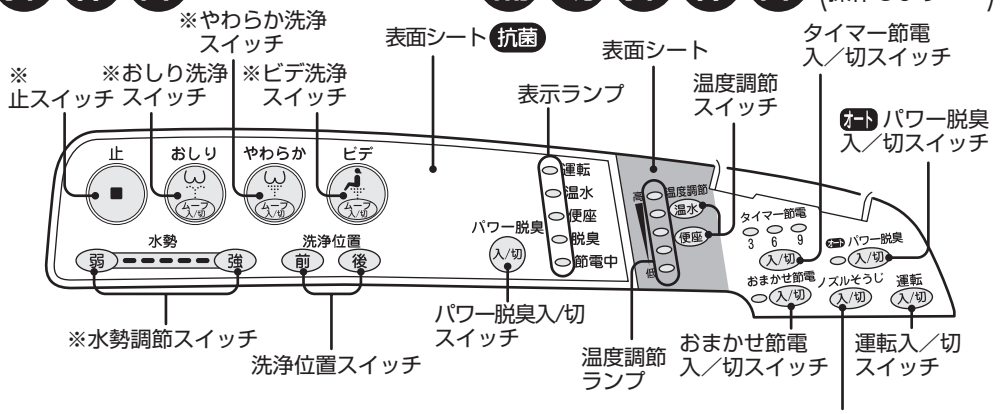
いす部



ウォシュレット部



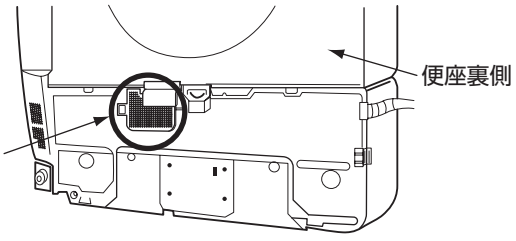
操作部



補助操作部 (カバーを開けて操作します)

※部分に点字を設けています。

ウォシュレット本体裏側



ご使用前の準備と確認

●製品への通電および通水は、取付作業をすべて終えてから行ってください。
●ウォシュレットの定格消費電力は412Wです。必ずこれに適した配線でご使用ください。

⚠ 警　告

禁止

指定する電源（交流100V）以外では使用しない
火災の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

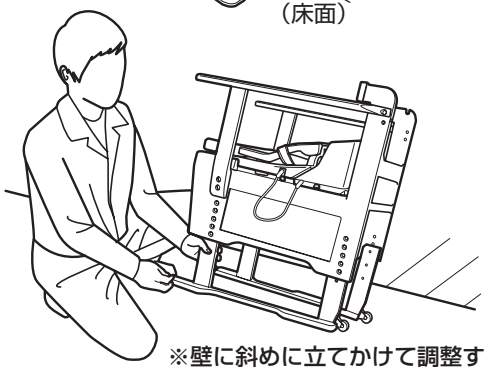
1. 便座高さの調整方法

六角レンチ（付属品）が必要です。
※電動ドライバーは使用しないでください。

◎便座の高さを選択します。
便座の高さは350、375、400、425、450mmの選択式です。
（工場出荷時：350mm）
便座高さの目安

使用者の身長	便座の高さ
～ 150 cm	350mm
150 ～ 160 cm	375mm
160 ～ 170 cm	400mm
170 ～ 180 cm	425mm
180 cm ～	450mm

※ あくまでも目安ですので、身体状況にあわせてください。
例えば、膝関節への負担を小さくしたい場合、一段高め(目安+25mm)をおすすめします。

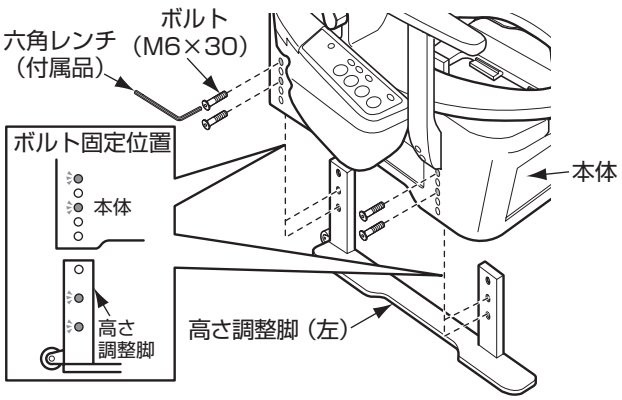

※壁に斜めに立てかけて調整する

◎便座の高さを調整します。
ご使用になる方の身体状況・身長にあわせて、便座の高さを調整してください。

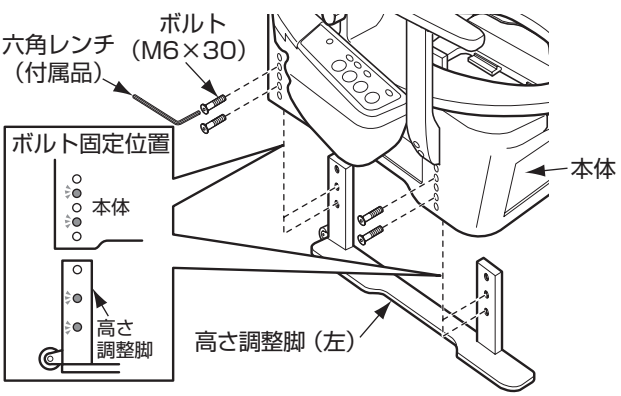
①高さ調整脚を取り外します。
いすを図のようにそっと斜めにし、付属の六角レンチで高さ調整脚を固定しているボルト(片側4本：M6×30)をいったん取り外します。

②高さ調整脚を使いやすい高さに調整して取り付けます。
高さによってボルトの固定位置が異なりますので、よく確認されて取り付けてください。
※必ず片側ボルト2本（両側ボルト4本）でしっかり締めてください。
※高さ調整脚には前後左右があります。必ずキャスターの付いている側を後方に向けて取り付けてください。
左右を間違えると取り付けられません。

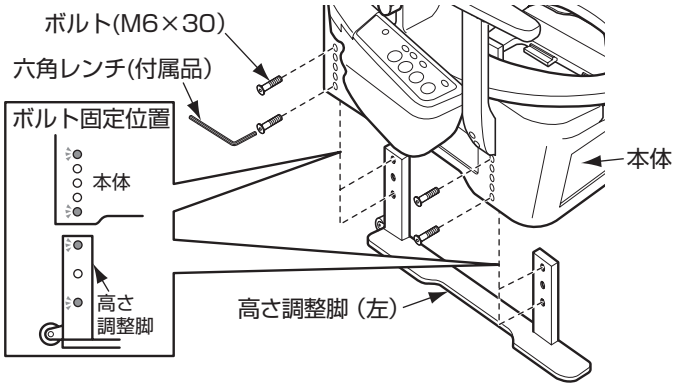
①便座高さ350mmの場合



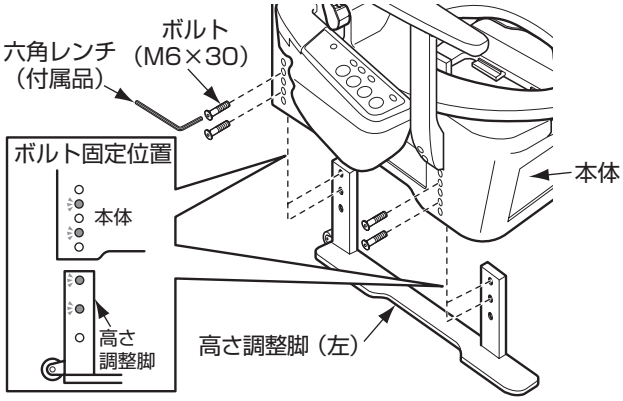
②便座高さ375mmの場合



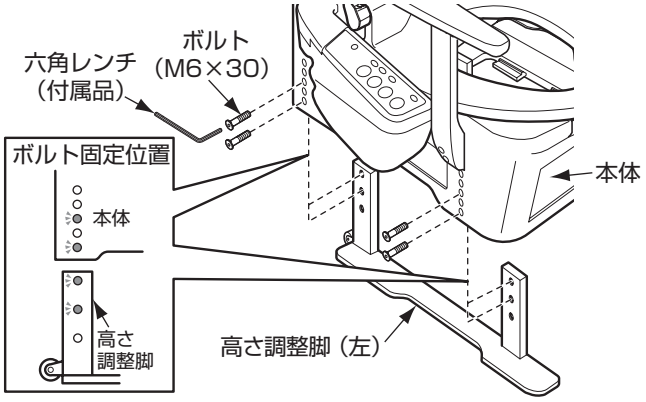
③便座高さ400mmの場合



④便座高さ425mmの場合



⑤便座高さ450mmの場合



⚠ 注　意

必ず実行

高さ調整脚の高さを調整する場合は、前後左右を同じ高さにする

転倒してけがをする原因になります。

アドバイス

接地後、いすのガタツキがある場合は、一度ボルト（左右8カ所）をゆるめて、ガタツキをなくしたあと、再度締め直してください。

2. アームレスト高さの調整方法

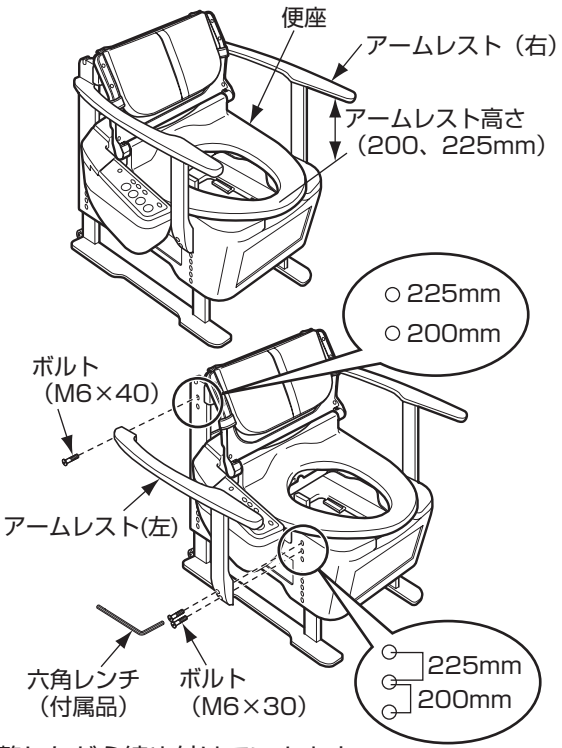
六角レンチ（付属品）が必要です。

※電動ドライバーは使用しないでください。

◎ご使用される方の体格・状況にあわせてアームレスト高さを調整できます。アームレスト高さは便座面から200、225mmの選択式です。（工場出荷時：225mm）

①アームレストを取り外します。
付属の六角レンチでアームレストを固定しているボルト(片側3本)をゆるめて取り外します。

②アームレストを所定の位置にずらして取り付けます。
付属の六角レンチでアームレストをボルト(片側3本)で固定します。



⚠ 警　告

禁止

高さ調整脚、アームレスト、ショートグリップの取付ボルトがゆるんだ状態で使用しない

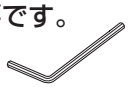
破損してけがをする原因になります。

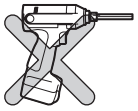
アドバイス

初めに3本のボルトはゆるく締め、ガタツキのないように交互に調整しながら締め付けていきます。

3. ショートグリップへの交換方法

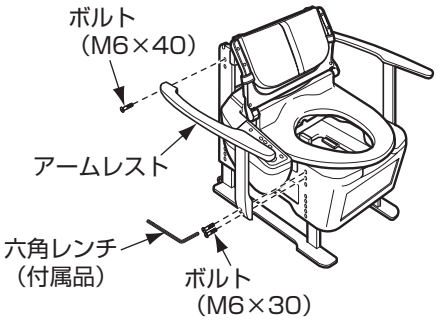
六角レンチ(付属品)、ボルト（M6×80）が必要です。
※電動ドライバーは使用しないでください。





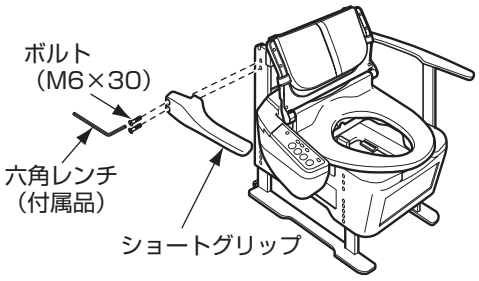
◎アームレストをショートグリップに交換することができます。交換することでベッドからの横移乗がしやすくなります。
◎ショートグリップは左右どちらでも交換可能です。
◎高さ調整はできません。

①交換する側のアームレストを取り外します。
※アームレストの取り外し方は、P.8の「2．アームレスト高さの調整方法」をご覧ください。

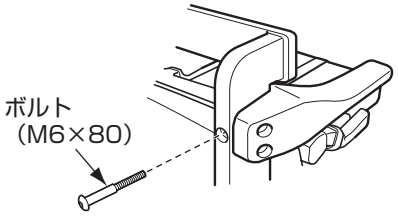


②アームレストを固定していた3本のボルトのうち、短い方の2本(M6×30)を使い、付属の六角レンチで横側からショートグリップをゆるく締めます。

③本体後ろの穴から付属のボルト(M6×80)を通し、ショートグリップを締め付けます。



④横側の2本のボルトもガタツキのないように交互に調整しながら締め付けていきます。



アドバイス

アームレストを外したときに余ったボルト(M6×40)1本は大切に保管しておいてください。

⚠ 警　告

禁止

高さ調整脚、アームレスト、ショートグリップの取付ボルトがゆるんだ状態で使用しない
破損してけがをする原因になります。

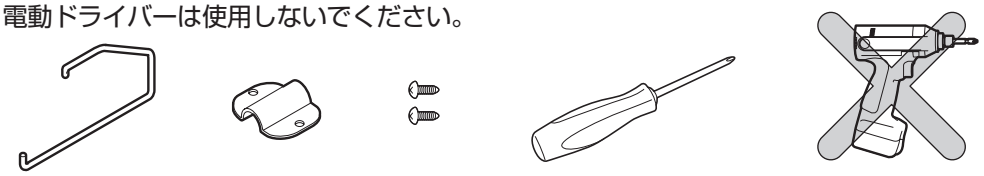
⚠ 注　意

禁止

ウォシュレット本体部や操作部、いす座面の枠に座らない
破損やけがをする原因になります。

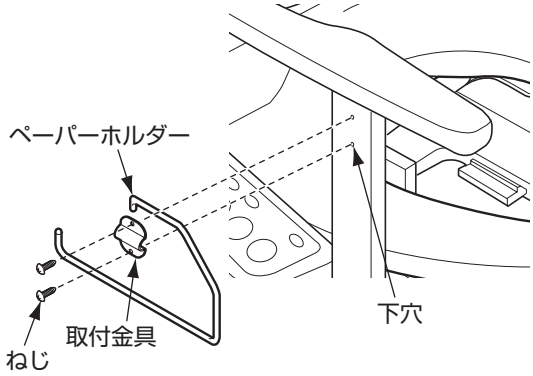
4. ペーパーホルダーの取付方法

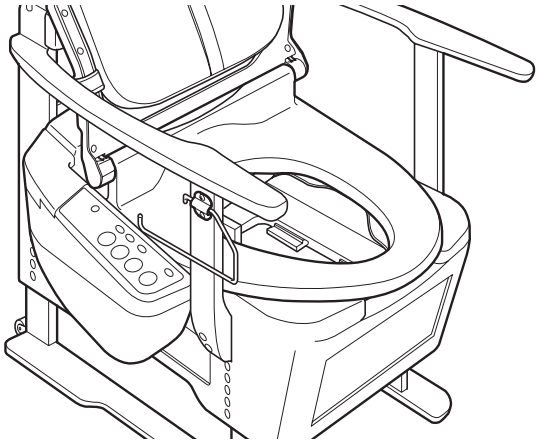
ペーパーホルダー、取付金具、ねじ（2本）、プラスドライバーが必要です。
※電動ドライバーは使用しないでください。



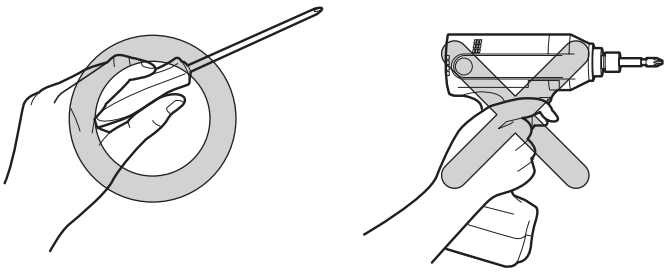
◎必要に応じてアームレスト（外側）にペーパーホルダーを取り付けることができます。
◎左右どちらでも取付可能です。
◎アームレストにはねじ取付用の下穴が開いています。

①ペーパーホルダーをはさみ込み、取付金具の穴をアームレストの下穴にあわせます。
※ペーパーホルダーの上下方向にご注意ください。
※衣服などが引っ掛からないように、ペーパーホルダーの先端が後側になるように取り付けてください。





②プラスドライバーでねじを締め付けていきます。
※ねじ頭をつぶさないように、ドライバーは手締めで行ってください。



アドバイス

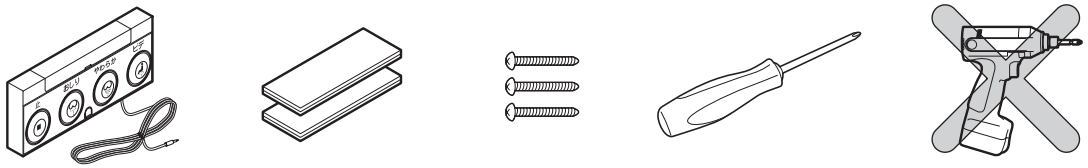
ガタツキのないように交互に調整しながら締め付けていきます。

⚠ 注　意

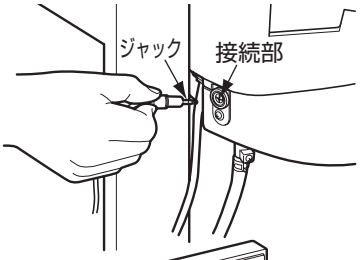
必ず実行	**ねじ止めする際は、ねじ頭にバリが出ないように注意する** けがをする原因になります。

5. らくらくリモコンの取付方法（EWRS290の場合）

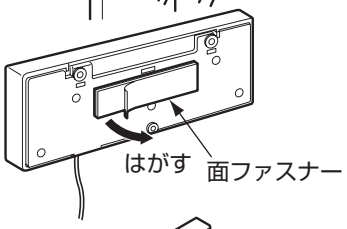
面ファスナーもしくはリモコン取付ねじ(3本)とプラスドライバーが必要です。
※電動ドライバーは使用しないでください。



・らくらくリモコンのジャックをウォシュレットに接続します。
※ウォシュレット側の接続部は、補助操作部後方の電源コード取出口の横にあります。
※ジャックは接続部に奥まで押し込んでください。確実に差し込まれていないとリモコンは作動しません。

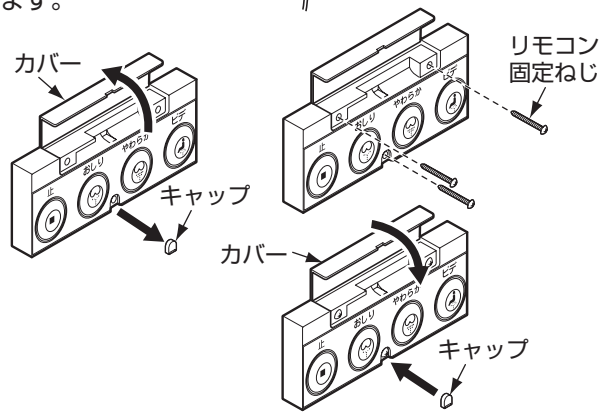


◎らくらくリモコンは、面ファスナーで着脱することや、ねじで固定することができます。お客様の使用環境にあわせてご活用ください。
◎リモコンの各操作スイッチはウォシュレット本体の操作スイッチと同じ働きをします。
◎リモコン接続後もウォシュレット本体の操作スイッチは使用できます。



＜面ファスナーで取り付ける場合＞
①らくらくリモコンを取り付ける位置を決め、水分や油をよくふき取ります。
②面ファスナーのループ面（柔らかい方）をらくらくリモコンの裏に貼り付けます。
③取り付ける場所に面ファスナーのフック面（硬い方）を貼り付けます。
※面ファスナーは、凹凸のある場所には取り付けられません。
④らくらくリモコンのねじ穴にキャップをします。

＜ねじで固定する場合＞
①らくらくリモコンを取り付ける位置を決めます。
②らくらくリモコンのカバーを開けます。
③らくらくリモコンを3カ所ねじ止めして固定します。
④カバーを下ろし、ねじ穴にキャップをします。



⚠ 注　意

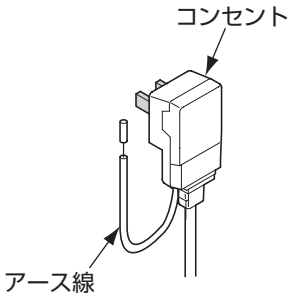
禁止	**面ファスナーは本製品以外の塗装された家具や壁紙を貼った壁に貼り付けない** 塗装や壁紙をはがす原因になります。
必ず実行	**リモコンを本体以外に取り付けている場合、本体の移動の際にはリモコンを取り外してから移動する** 破損やけがをする原因になります。
	電源コードやリモコンコードの取り回しに注意する コードが足にからまり、転倒してけがをする原因になります。
	面ファスナーでリモコンを着脱する場合、お互いの面ファスナーがずれないようにしっかり密着させる
	面ファスナーでリモコンを取り付ける場合、移乗や介護の邪魔にならない位置に取り付ける 落下してけがや破損をする原因になります。
	取付ねじでリモコンを取り付ける場合、合板などの木材に取り付ける 取り付けが不安定になり、落下してけがや破損をする原因になります。

6. アース線を接続する

⚠ 警　告

アース接続

アース（D種接地）工事がされていることを確認する
アース工事がされていないと故障や漏電のとき感電する原因になります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



アース線をコンセントのアース端子に接続します。

7. 電源プラグを差し込む

⚠ 警　告

禁止

ガタついているコンセントは使わない
火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

①電源プラグを交流100V（50/60Hz）のコンセントに根元まで確実に差し込みます。
②電源プラグの「切表示」ランプが消灯していることを確認します。
※「切表示」ランプが点灯しているときは「入(リセット)」ボタンを押すと「切表示」ランプが消灯します。
詳しくは33ページの「3．電源プラグのお手入れと点検」をご覧ください。
※電源プラグを差し込み、リセットボタンを押すと自動的にウォシュレットのノズルが出てきますが、異常ではありません。

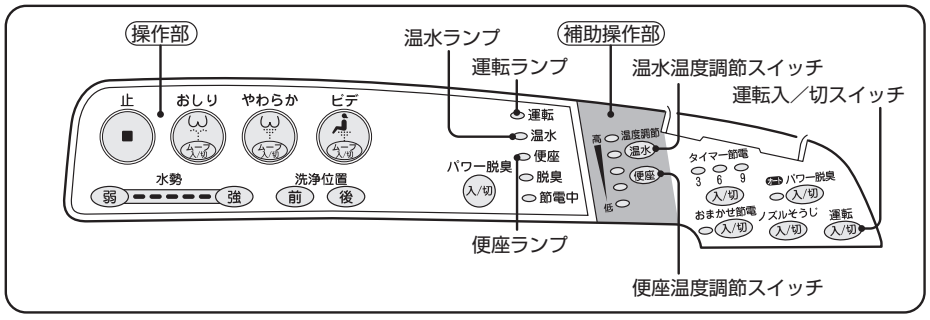
8.「操作部」・「補助操作部」を確認する

以下の内容を確認します。

◆「運転ランプ」は点灯していますか？
▶ 点灯していないときは、補助操作部の 運転 入/切 を押し、ランプを点灯させます。

◆「温水ランプ」は点灯していますか？
▶ 点灯していないときは、補助操作部の 温水 を押し、ランプを点灯させます。

◆「便座ランプ」は点灯していますか？
▶ 点灯していないときは、補助操作部の 便座 を押し、ランプを点灯させます。



9. ウォシュレットの機能を確認する

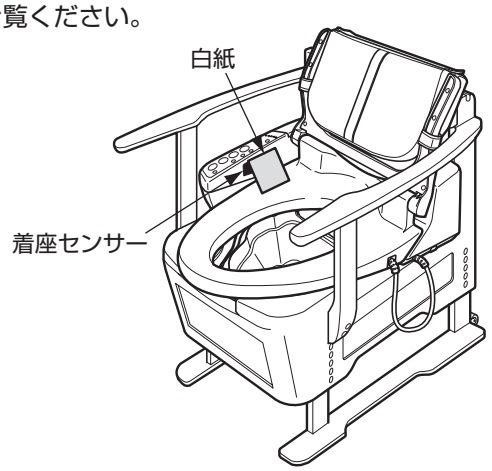
※ウォシュレットの操作部先端に養生用の透明テープを3枚貼っていますので、ご使用前にはがしてお使いください。

①バケツ、防滴トレイが正しく取り付けられているか確認します。
※バケツの取り出し方は、P.14の「2．バケツの着脱方法」をご覧ください。
※防滴トレイの取り付け方は、P.15の「3．防滴トレイの着脱方法」をご覧ください。

②給水タンクに給水します。
※給水方法は、P.16の「4．給水方法」をご覧ください。

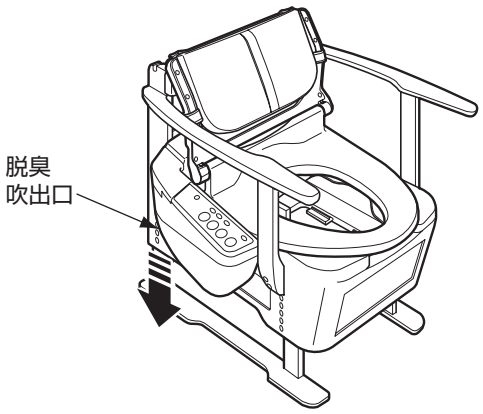
③いす座面を跳ね上げます。
※いす座面の跳ね上げ方は、P.14「1．いす座面の跳ね上げ方法」をご覧ください。

④着座センサーを白紙で覆います。
※白紙でおおうと着座センサーが着座を検知した状態になります。



⑤脱臭機能を確認します。
◆操作部の内側の吹出口から風が出ていますか？
※確認できない場合は、P.35の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

⑥パワー脱臭機能を確認します。
◆操作部の パワー脱臭 入/切 を押すと脱臭音が大きくなりますか？
◆もう一度 パワー脱臭 入/切 を押すと元の音に戻りますか？
※確認できない場合は、P.35の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。



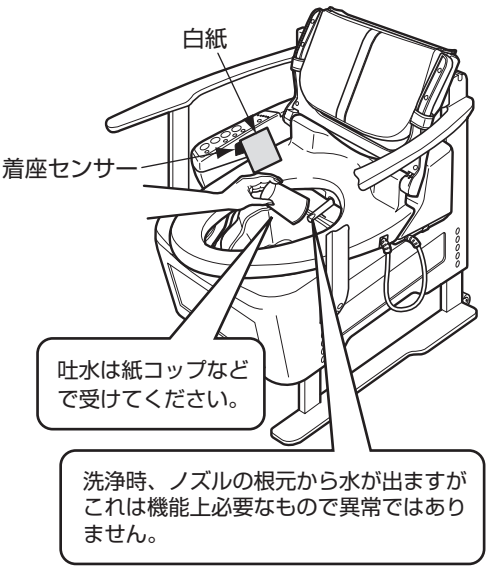
⑦洗浄機能を確認します。
◆ おしり やわらか ビデ のいずれかを押すとノズルから適温の温水が出ますか？
※ウォシュレット内部の温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。

※ウォシュレット付ポータブルトイレはポンプで給水する構造のため、ウォシュレットご使用時に、ポンプ動作音と振動が発生します。

◆水勢調節スイッチ 弱 強 を押すと水の量が変わりますか？
◆ 止 を押すと吐水が止まりますか？
※確認できない場合は、P.35の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

⑧着座センサーの白紙を30秒以上覆ったあと外します。
※白紙を外すと着座センサーが離座を検知した状態になります。

⑨オートパワー脱臭機能を確認します。
◆ 脱臭音が大きくなりますか？
※着座センサーを30秒以上白紙で覆わないとオートパワー脱臭は作動しません。
◆白紙を外してから約1分後に自動的で脱臭音が止まりますか？
※確認できない場合は、P.35の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。



⑩暖房便座機能を確認します。
◆便座面が暖かくなっていますか？
※便座面が温まるまで約15分かかります。
※確認できない場合は、P.35の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

使いかた

●ご使用の前に介助者の方が各部のガタ、ゆるみなどをご確認ください。

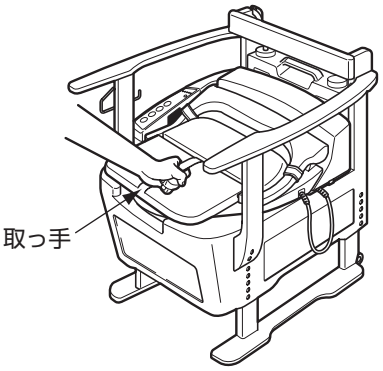
⚠ 警　告

禁止

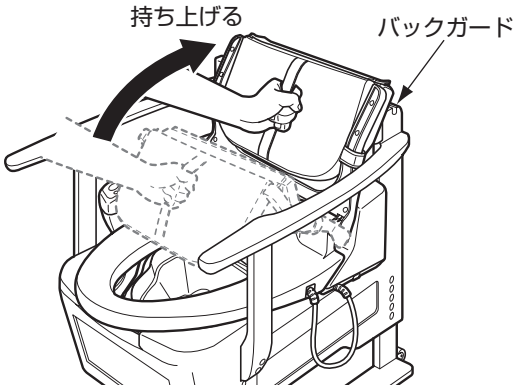
高さ調整脚、アームレスト、ショートグリップの取付ボルトがゆるんだ状態で使用しない
破損してけがをする原因になります。

1. いす座面の跳ね上げ方法

①中央のいす座面の取っ手をつかむ。



②持ち上げながらバックガードまで跳ね上げる。
※必ず2つ折りになるように、跳ね上げてください。
※操作部側面の着座センサーを覆わないように注意してください。着座を検知した状態が続きますので、安全のために自動的に暖房便座を「切」にします。



⚠ 注　意

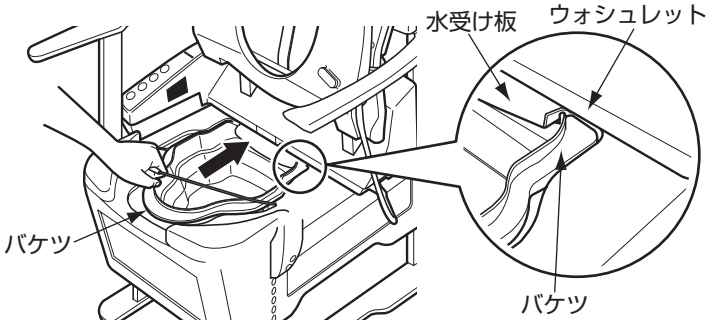
禁止

いす座面を2つ折りにしない状態で背もたれとして使用しない
けがをする原因になります。

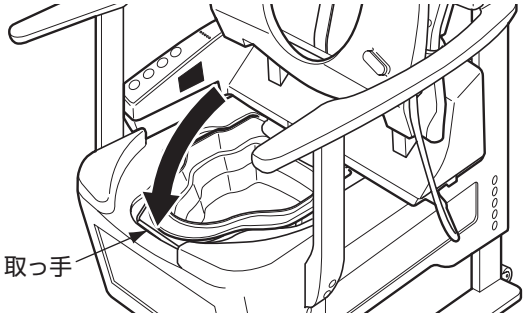
2. バケツの着脱方法

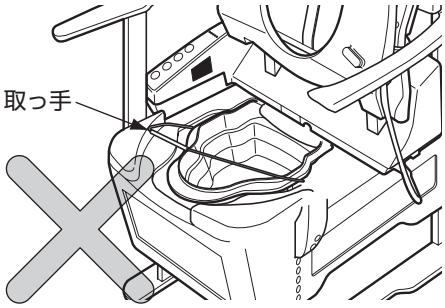
＜バケツの取付方法＞

①バケツをバケツ穴に収納し、バケツが奥の壁に当たるまでしっかり押し込みます。



②取っ手を手前に下ろし、枠にしっかりはめ込みます。
※取っ手が本体のゴム部材に当たり、便座が正しく下がっていないときは、きちんと枠に収まっていません。





⚠ 注　意

必ず実行

バケツ、防滴トレイを正しく装着して使用する
小便やウォシュレットの洗浄水が飛散し、床などをぬらす原因になります。

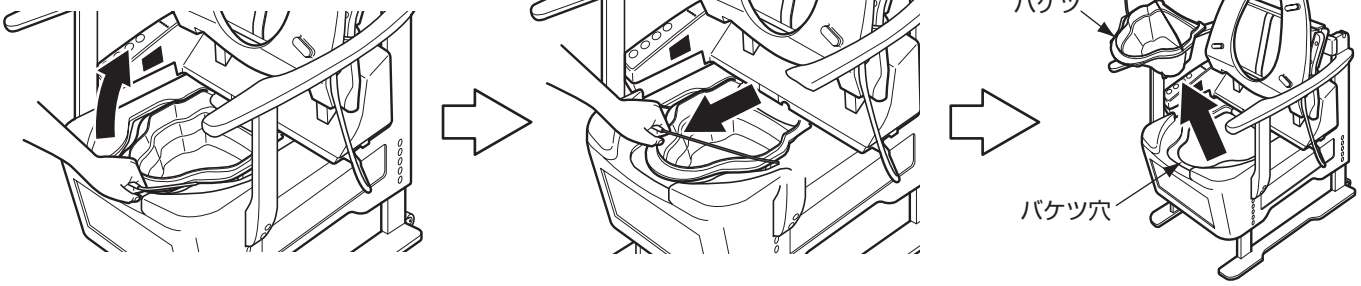
＜バケツの取り出し方法＞

①いす座面・便座を跳ね上げます。
※いす座面の跳ね上げ方法は、P.14の「1．いす座面の跳ね上げ方法」をご覧ください。
②バケツの取っ手をしっかりと持ち、手前にゆっくりと引き出しながらバケツ穴から取り出します。

⚠ 注　意

必ず実行

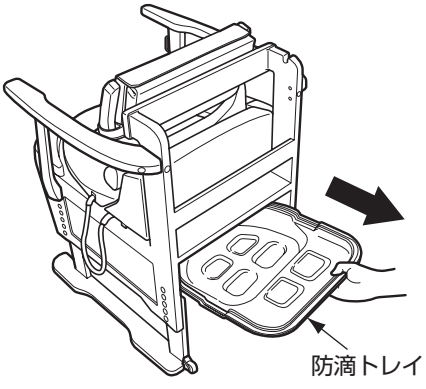
バケツを取り出す際は、前に引き出してから持ち上げる
バケツが水受け板に接触し、中の汚物をこぼす原因になります。



3. 防滴トレイの着脱方法

＜防滴トレイの取り出し方法＞

①バケツを本体から取り外します。
※バケツの取り外し方は、P.14の「2．バケツの着脱方法」をご覧ください。
②十分に水をふき取ります。
③本体の後ろから防滴トレイを取り出します。



⚠ 注　意

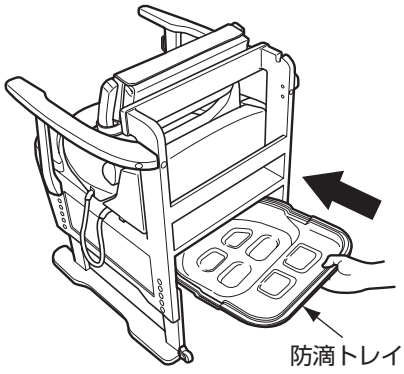
必ず実行

防滴トレイを取り出すときは、水分をふき取ってから取り出す
溜水がこぼれて床などをぬらす原因になります。

＜防滴トレイの取付方法＞

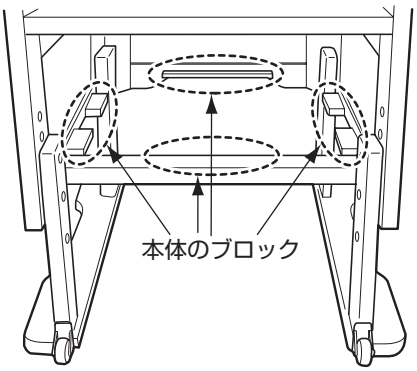
①バケツを本体から取り外します。
※バケツの取り外し方は、P.14の「2．バケツの着脱方法」をご覧ください。

②本体の後ろから防滴トレイを入れます。



③防滴トレイを本体のブロックに載せてください。
本体の脚を避けて真っすぐに入れます。
※防滴トレイの前後方向をご確認ください。
※必ず前後左右の4方向のブロックに載せてください。
※出荷時はテープで仮止めしています。テープをはがしてから取り出しを行ってください。

④バケツを本体に取り付けます。
※バケツの取り付け方は、P.14の「2.バケツの着脱方法」をご覧ください。



⚠ 注　意

必ず実行	**バケツ、防滴トレイを正しく装着して使用する** 小便やウォシュレットの洗浄水が飛散し、床などをぬらす原因になります。

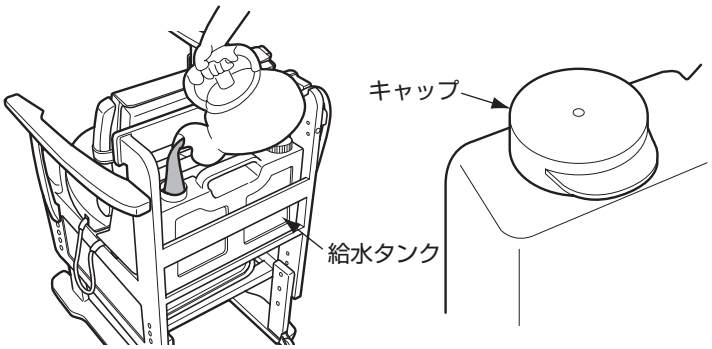
4. 給水方法

＜タンクを本体から外さないで給水する場合＞

①給水ホースがついていない方のキャップを外します。

②やかんなど注ぎ口の小さな容器で給水タンクに水道水を入れます。
※給水の際、給水タンクから水があふれないようにご注意ください。

③キャップをカチッと音がするまでしっかりと押し込みます。

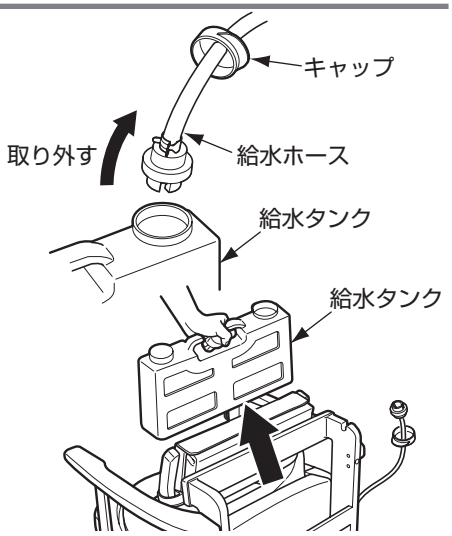


アドバイス

・給水タンクの容量は約3.5リットルです。
・給水タンクのキャップに開いている小さな穴は空気穴です。

<タンクを本体から外して給水する場合>

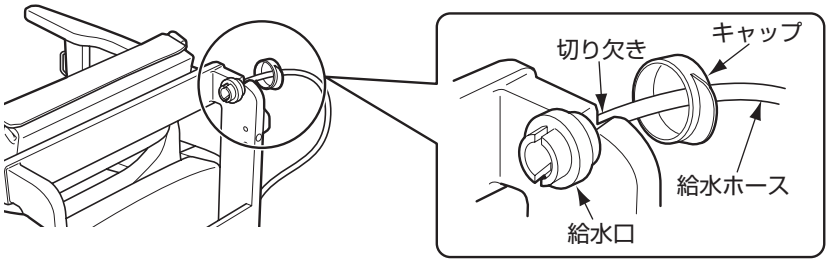
①給水タンクから給水ホースについているキャップを外します。



②給水タンクから給水ホースを取り出します。
※給水ホースを取り出したときに、給水ホースに付着した水や中の水がこぼれてくることがありますので、タオルなどで受けながら行ってください。
※給水ホースを取り出すときは、給水ホースを押しつぶさないようにご注意ください。給水ホースに残っている水が大量に落ちてくることがあります。

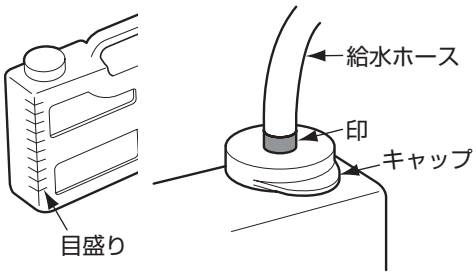
③給水タンクを取り出します。

④給水ホースを本体に引っ掛けます。



⑤給水タンクに水を入れます。
※給水タンクに水を入れすぎると、給水ホースを入れたときに溢れてくることがあります。給水タンクについている目盛りをご参考ください。

⑥給水口を差し込み、キャップをしっかりと押し込みます。
※各部から水漏れのないことをご確認ください。
※キャップが印の位置にあることをご確認ください。ずれていると給水できなくなりますので、キャップを印の位置にあわせてください。



アドバイス

給水ホースは本体の切り欠きに引っ掛けることができます。給水ホース内の水が落ちてきますので、必ず、外した給水口が内側を向くように固定してください。

⚠ 警 告

禁止	**給水タンクにお湯を入れない** やけどや給水タンクが変形する原因になります。

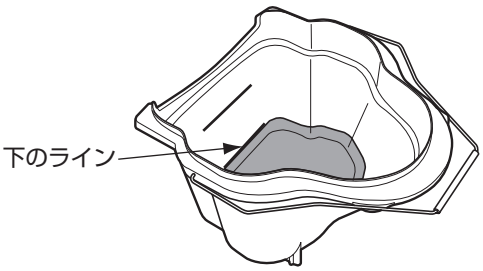
⚠ 注 意

禁止	**給水タンクに水道水以外は使用しない、消毒液、薬品、芳香剤などを入れない** 皮膚の炎症などを起こす原因になります。
禁止	**ウォシュレットの給水タンクの水は毎日入れ替える** 水質悪化により、皮膚の炎症などを起こす原因になります。
必ず実行	**外した給水口が内側を向くように固定する** 給水ホース内の水が落ちて床などをぬらす原因になります。

5. 標準的な使いかた

＜1＞ 準備

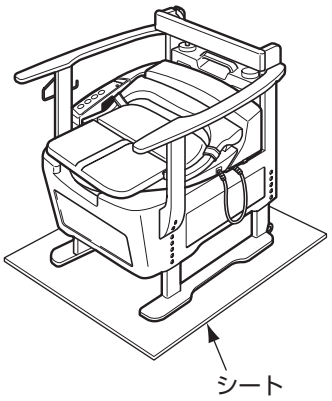
①バケツ内の下のラインまで水を入れます。（約1.5リットル）



②防滴トレイが正しく取り付けられているか確認します。
※防滴トレイの取り付け方は、P.15の「3．防滴トレイの着脱方法」をご覧ください。

③バケツを本体に取り付けます。
※バケツの取り付け方はP.14の「2．バケツの着脱方法」をご覧ください。

④便座といす座面を下ろします。



アドバイス

・バケツ内の下のラインは、ご使用前に溜める水の水位を表しています。
汚物を水没させてにおいの拡散を防ぐ効果があります。
・床面への水の飛び散り防止や、傷つき防止のために、市販のシートやマット
をお使いになると便利です。
・市販の消臭フォームを使うと、においの拡散がより防げます。

⚠ 注　意	
禁止	**バケツふたを装着した状態でウォシュレットの洗浄機能を使用しない** 洗浄水が飛散し、床などをぬらす原因になります。
必ず実行	**バケツ、防滴トレイを正しく装着して使用する** 小便やウォシュレットの洗浄水が飛散し、床などをぬらす原因になります。

<2> 座る

いす座面を跳ね上げて便座に座ると着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになると同時に脱臭が始まります。

アドバイス

・いす座面を跳ね上げると背もたれとしてご利用できます。
・着座センサーは人が便座に座ったことを検知するものです。使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなることがあります。（36ページ参照）
・便座に座ると約20分後から徐々に便座の温度を下げ、約1時間後に暖房便座のヒーターのスイッチが自動的に切れて低温やけどを防止します。便座から離れると自動でヒーターのスイッチが入ります。

⚠ 注　意

禁止

いす座面を2つ折りにしない状態で背もたれとして使用しない
けがをする原因になります。

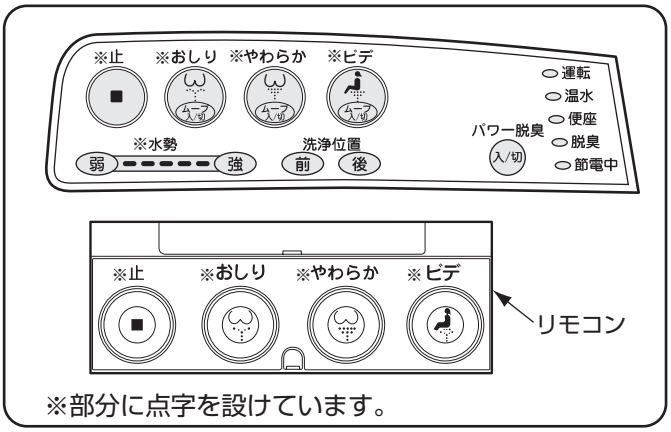
ウォシュレット本体部や操作部、いす座面の枠に座らない
破損やけがをする原因になります。

<3> 洗う

おしり　やわらか　ビデ

①お湯を出す。

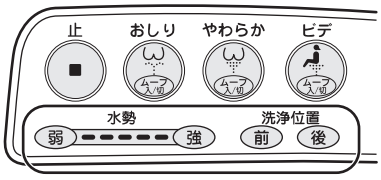
・おしり洗浄 (おしり) または、やわらか洗浄 (やわらか) を押します。
　※ソフトな水流がお好みの方は (やわらか) をご使用ください。
・ビデ洗浄 (ビデ) を押します。



※部分に点字を設けています。

②水勢と洗浄位置を調節する。

・水勢調節
　お好みの水勢を5段階で調節できます。
・洗浄位置調節
　お好みの洗浄位置を5段階で調節できます。
　※便座から立ち上がると標準位置（3段階目）に戻ります。



アドバイス

・給水タンクの水がなくなったときは、使用を中断し給水してください。故障の原因になります。給水タンクの水がなくなると、水が出なくなり、音が大きくなります。
・便座に深く腰掛けますと洗浄位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。
・ウォシュレットは貯湯式ですので、連続して使用するとお湯の温度が低くなることがあります。

■ さらに快適な使いかた

快適洗浄　ムーブ洗浄

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗浄します。

操作方法

①(おしり)(やわらか)(ビデ)のうち使用するスイッチを押します。
　洗浄を開始します。

②もう一度同じスイッチを押します。
　ムーブ洗浄が始まります。

③さらにもう一度同じスイッチを押します。
　ムーブ洗浄が終わります。

<4> 止める

<5> 離れる

便座から離れると、オートパワー脱臭が始まります。
オートパワー脱臭は約1分後に止まります。

アドバイス

便座に着座している時間が短いと、オートパワー脱臭が始まらないことがあります。

おしり洗浄・やわらか洗浄・ビデ洗浄について

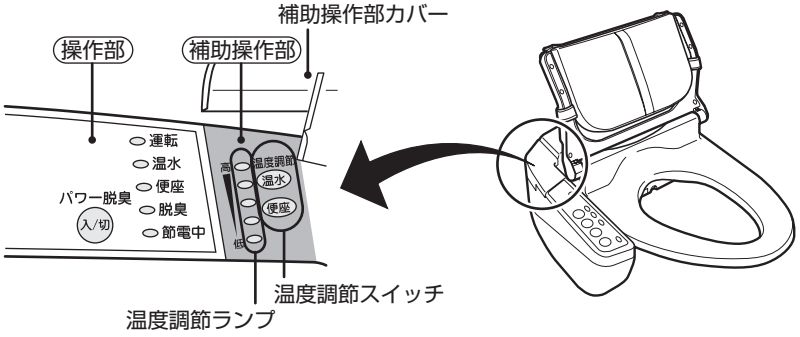
- **局部周辺に付着した汚物や汚れを洗い流す機能です。**
- **長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。**
  ※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌のバランスが崩れる可能性があります。
- **局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。**

■ 知っておいていただきたいこと

- ウォシュレットはポンプ給水式です。給水ホース内に空気が入った状態でポンプが作動すると大きな音が発生しますが、故障ではありません。
- ノズルの右側からときどき水が出ますが、これは温水タンク内の水が膨張して出てくるもので、異常ではありません。

6. 温度調節の仕方

◎温水、便座の温度は補助操作部の温度調節スイッチで調節できます。お好みの温度でご使用ください。

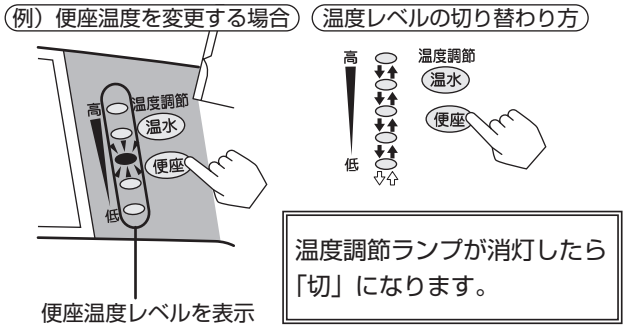


■ 温度を変更したいとき

① 温水 便座 のうち温度を変更したいスイッチを押します。
温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

アドバイス

温度調節ランプは、温水・暖房便座温度の表示を共用しています。温度調節スイッチを押したときのみ、押したスイッチの温度レベルを表示します。



温度調節ランプが消灯したら「切」になります。

②お好みの温度レベルになるまで温度調節スイッチを繰り返し押します。
スイッチを押すごとに温度調節ランプが切り替わります。

アドバイス

・温度調節中に約10秒間スイッチから手を離すと温度調節ランプは消灯します。そのときは、もう一度スイッチを押してください。
・温度調節スイッチを押して水温が安定するまで約10分かかります。

■ 温水または暖房便座を「切」にしたいとき

①(温水)(便座)のうち「切」にしたいスイッチを押します。
温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。
②温度調節ランプが消えるまで温度調節スイッチを繰り返し押します。

アドバイス

温度調節ランプの消灯と共に、表示ランプも消灯します。

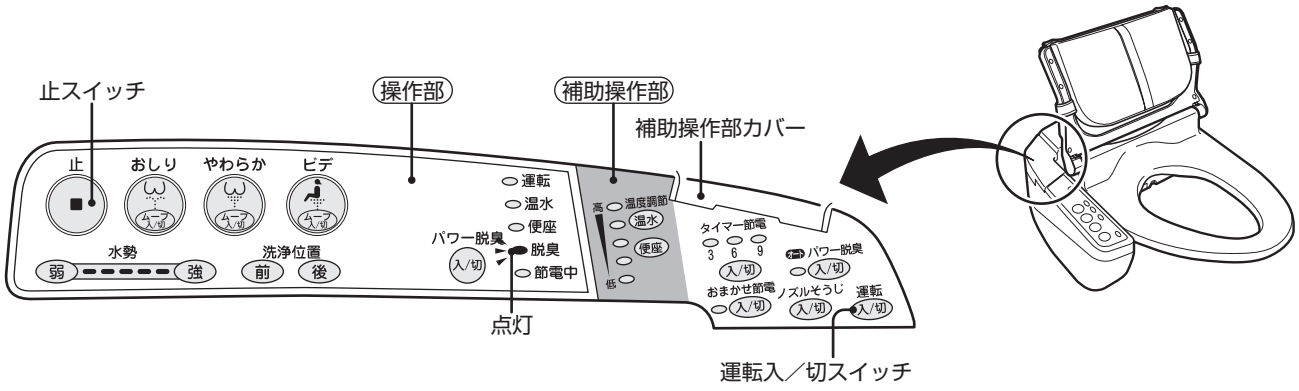
■ 温水または暖房便座を「入」にしたいとき

(温水)(便座) のうち「入」にしたいスイッチを押します。
お好みの温度レベルに調節してください。

アドバイス

温度調節ランプの点灯と共に、表示ランプも点灯します。

7. 脱臭の仕方



■ 脱臭を使うとき

◇バケツ内のにおいをとります。
①いす座面を跳ね上げて便座に座ると、脱臭が始まります。
操作部の「脱臭」ランプが点灯します。

アドバイス

はじめは、脱臭は「入」に設定されています。

②座面から離れると、約1分後に脱臭が自動で止まります。
操作部の「脱臭」ランプが消灯します。

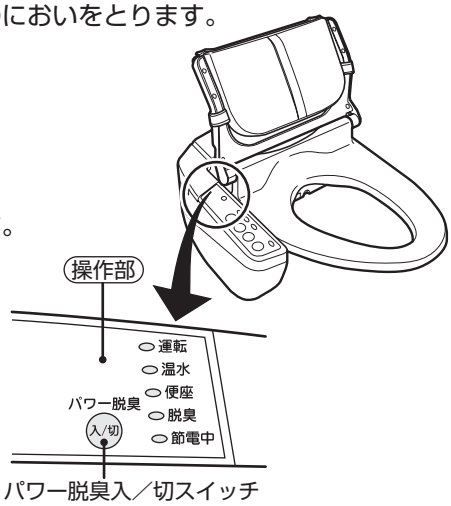
脱臭を使わないようにするには…	再び脱臭を使うようにするには…
1）操作部の 止 を10秒以上押します。 操作部の表示ランプが全て点滅します。	1）操作部の 止 を10秒以上押します。 操作部の表示ランプが全て点滅します。
2）補助操作部の 運転 入/切 を押します。 操作部の「脱臭」ランプのみ点滅します。	2）補助操作部の 運転 入/切 を押します。 全てのランプが消灯します。
3）もう一度、 運転 入/切 を押します。 「脱臭」ランプが消灯します。	3）もう一度、 運転 入/切 を押します。 「脱臭」ランプが点滅します。
4）もう一度、 止 を押します。 ・標準の脱臭、オートパワー脱臭をやめます。 ・パワー脱臭のみ使えます。	4）もう一度、 止 を押します。

■ パワー脱臭を使うとき

◇便座に座って、においが気になるとき、吸い込む力をアップさせてバケツ内のにおいをとります。
操作部の パワー脱臭 入/切 を押すと、パワー脱臭が始まります。

アドバイス

・「パワー脱臭」は、便座に座らないとはたらきません。
・いったん便座に座れば、便座を離れた後も約１分間スイッチを受け付けます。



■ パワー脱臭をやめるとき

もう一度、操作部の パワー脱臭 入/切 を押すと、標準の脱臭風量に戻ります。

アドバイス

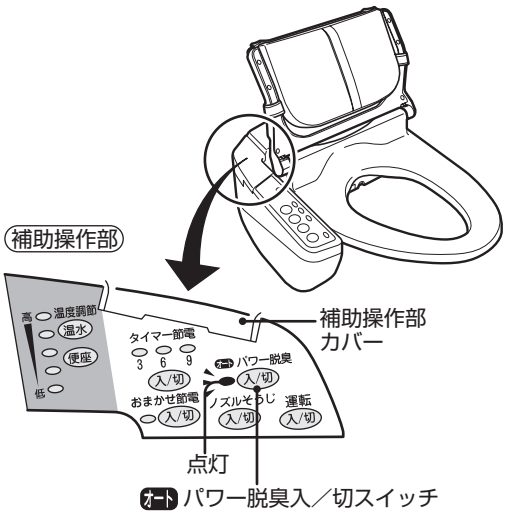
「パワー脱臭」を切らずに便座から離れた場合でも、約1分後に止まります。

■ オートパワー脱臭を使うとき

◇便座から離れると自動でパワー脱臭を行います。
◇補助操作部の「オート パワー脱臭」ランプが点灯していることを
確認してください。
便座から離れると、オートパワー脱臭が始まります。
・約1分後に自動的に止まります。

アドバイス

はじめは、オートパワー脱臭は「入」に設定されています。



■ オートパワー脱臭を使わないとき

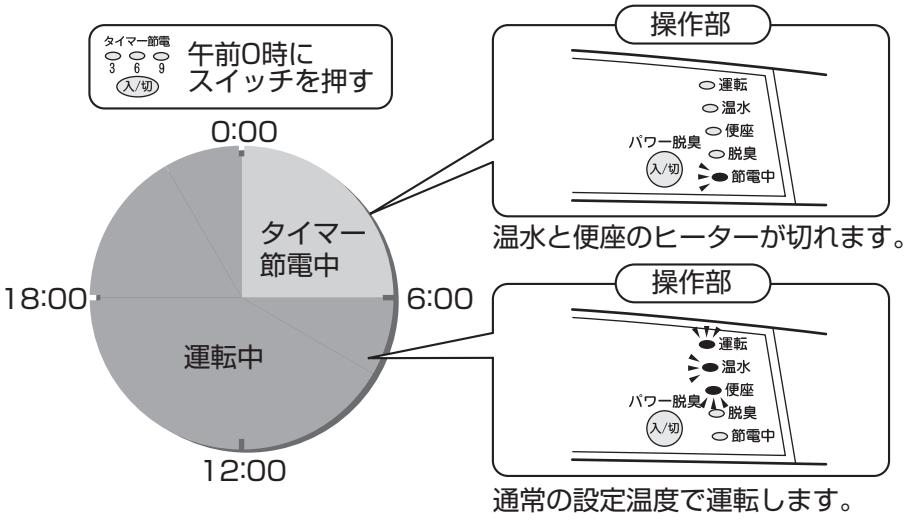
補助操作部の オート パワー脱臭 入/切 を押すと、オートパワー脱臭をやめます。
・補助操作部の「オート パワー脱臭」ランプが消灯します。

8. タイマー節電の仕方

タイマー節電とは…

◎一度設定すると毎日その時間に自動で節電します。
◎タイマー節電中は温水と便座のヒーターが切れます。

例）午前0時から6時まで節電する場合



※翌日以降も自動で、同じ時間帯に節電します。

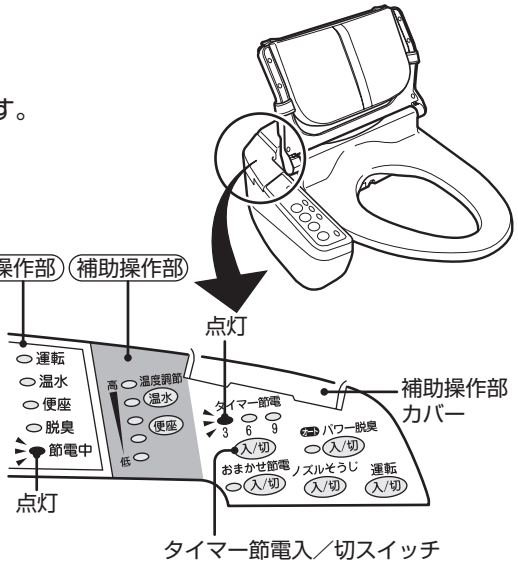
■ タイマー節電をするとき

節電を開始したい時刻に補助操作部の タイマー節電 入/切 を押すと、節電を始めます。

・補助操作部の「タイマー節電」ランプ「3」が点灯します。
・操作部の「節電中」ランプ（緑色）が点灯します。

アドバイス

・節電中でも便座に座れば、一時的に温水と便座のヒーターが入ります。
・温水になるまで約10分かかります。
・便座が暖まるまで約15分かかります。
・節電開始時刻を変更したいときは、いったんタイマー節電をやめてから、節電を開始したい時刻にもう一度 タイマー節電 入/切 を押してください。

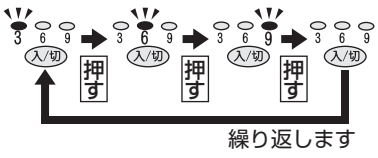


■ 節電時間の変更

◇3・6・9時間のいずれかに設定変更ができます。

タイマー節電 入/切 を押します。

・スイッチを押すごとに3→6→9→切（ランプ点灯なし）の順でランプ表示が変わりますので、設定したい時間をお選びください。



■ タイマー節電をやめるとき

「タイマー節電」ランプが消えるまで タイマー節電 入/切 を押すと、節電をやめます。

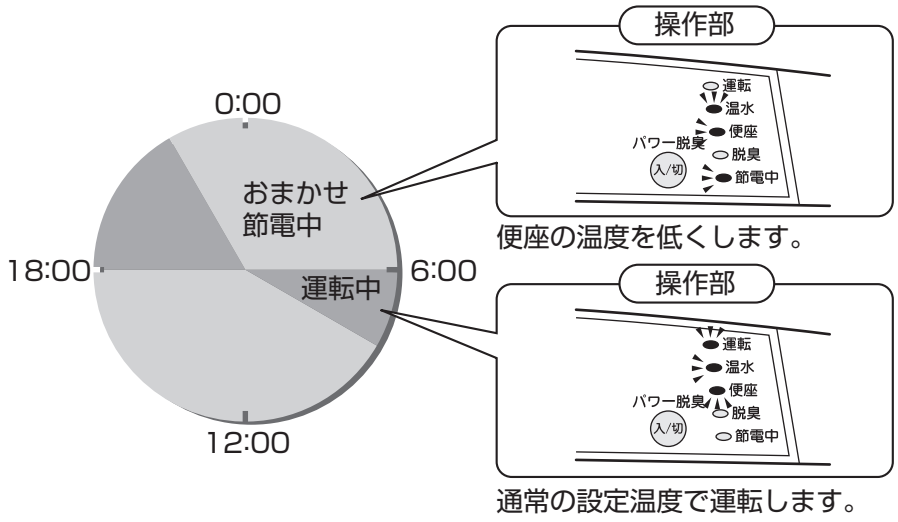
・操作部の「運転」・「温水」・「便座」ランプが点灯します。

9. おまかせ節電の仕方

おまかせ節電とは…

◎トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間を見つけ、自動で便座の温度を下げて節電します。

◎同じ時間帯に1週間のうち2回程度のご使用であれば、あまり使用しない時間として節電していきます。



■ おまかせ節電をするとき

補助操作部の おまかせ節電 入/切 を押すと、自動で便座の温度を下げて、節電を始めます。

・補助操作部の「おまかせ節電」ランプが点灯します。

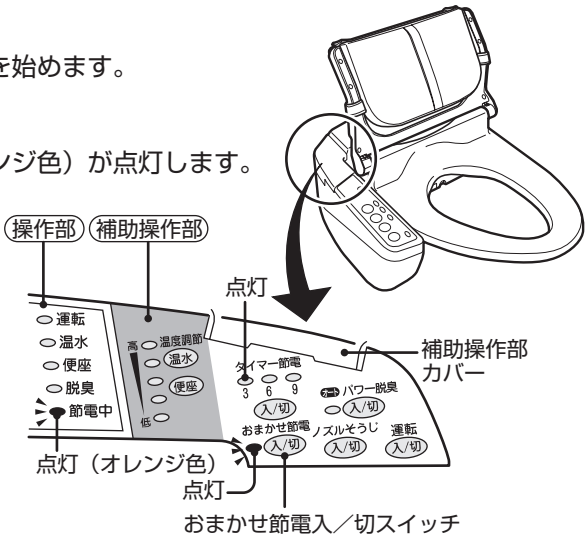
・あまり使用しない時間になると操作部の「節電中」ランプ（オレンジ色）が点灯します。

アドバイス

・ウォシュレットをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2～3日かかります。その間は徐々に節電をしていきます。

・節電中の便座温度は約26℃に設定しています。

・節電中でも便座に座れば、一時的に便座をあたためます。



■ おまかせ節電をやめるとき

おまかせ節電 入/切 を押すと、おまかせ節電をやめます。

・補助操作部の「おまかせ節電」ランプが消灯します。

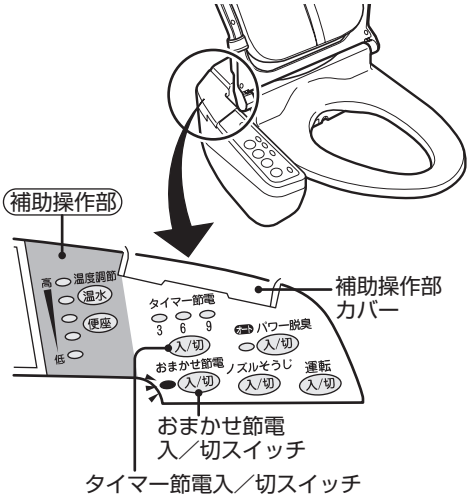
・操作部の「運転」ランプが点灯します。

■タイマー節電とおまかせ節電の両方を使うとき

◇ スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

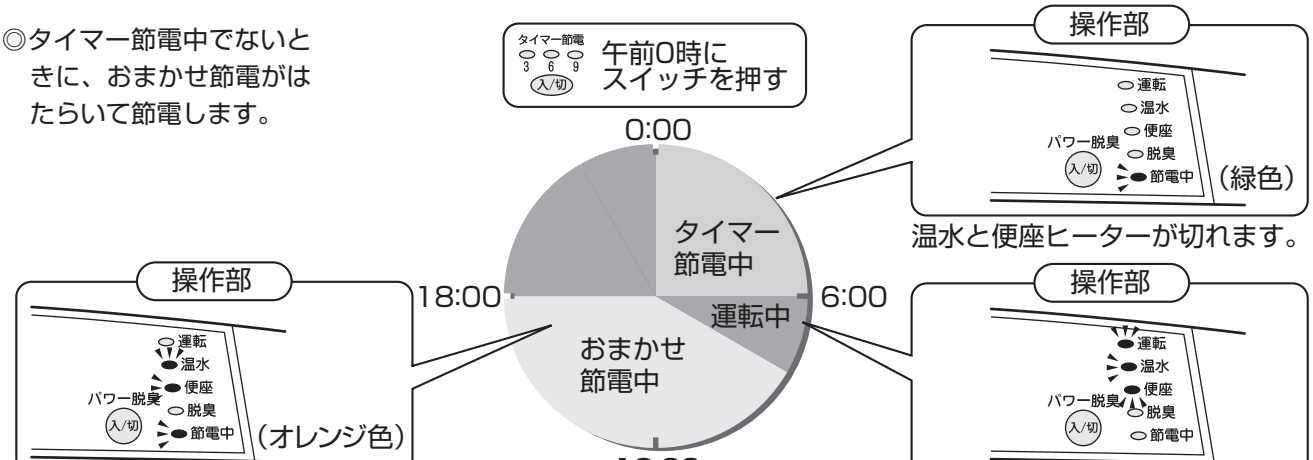
①節電を開始したい時刻に補助操作部の タイマー節電 入/切 を押します。
タイマー節電の仕方は23ページをご覧ください。

② おまかせ節電 入/切 を押します。



たとえば、次のように節電します

◎タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて節電します。

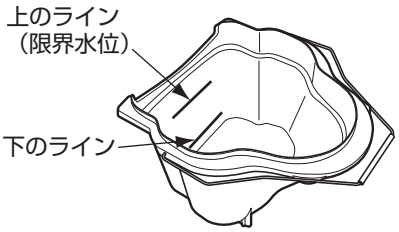


10. 汚物の処理

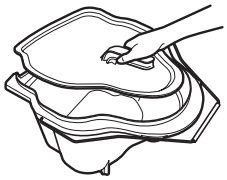
◎バケツの上のラインは容量の限界水位を表しています。このラインを超える水や汚物を受けることはできません。
バケツ内の水や汚物があふれ、床を汚す原因になります。

①便座を跳ね上げます。

②バケツにバケツふたをかぶせます。



③バケツを取り出します。
※バケツの取り出し方は、P.14の「2．バケツの着脱方法」をご覧ください。



④汚物をトイレに流し、バケツ・バケツふたをよく洗います。

⑤バケツ内の下のラインまで水を入れます。

⑥防滴トレイが正しく取り付けられているか確認します。
※防滴トレイの取り付け方法は、P.15の「3．防滴トレイの着脱方法」をご覧ください。

⑦バケツを本体に取り付けます。
※バケツの取り付け方は、P.14の「2．バケツの着脱方法」をご覧ください。

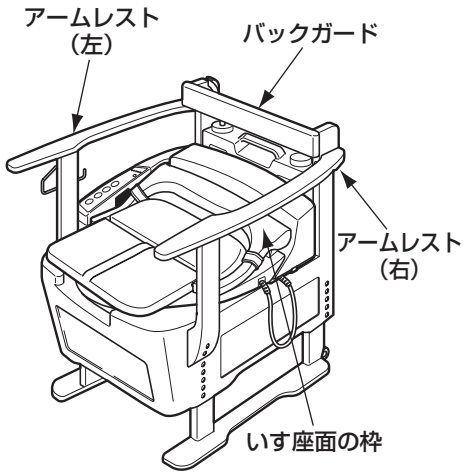
⑧便座といす座面を下ろします。

⚠ 注　意	
禁止	**バケツ内の上のラインを超える容量の水や汚物を受けない** バケツ内の水や汚物があふれ、床などを汚す原因になります。
必ず実行	**バケツ、防滴トレイを正しく装着して使用する** 小便やウォシュレットの洗浄水が飛散し、床などをぬらす原因になります。

11. いすとしての使い方と注意

◎トイレとしてだけでなく、普段はいすとしてご使用いただけます。

便座といす座面を下ろし、いすとしてご使用いただけます。
※いすとしてご使用の際は、背もたれはありません。



⚠ 警　告

禁止

アームレストを背もたれとして使用しない
転倒したり、破損してけがをする原因になります。

本体を手すりの代わりに使用しない
転倒したり、破損してけがをする原因になります。

⚠ 注　意

禁止

商品の上に飛び乗らない
転倒したり、破損してけがをする原因になります。

ウォシュレット本体部や操作部、いす座面の枠に座らない
破損やけがをする原因になります。

12. 移動の仕方

◎「ポータブルトイレをちょっと移動させたい」というときに、いす脚のキャスターを使うと便利です。

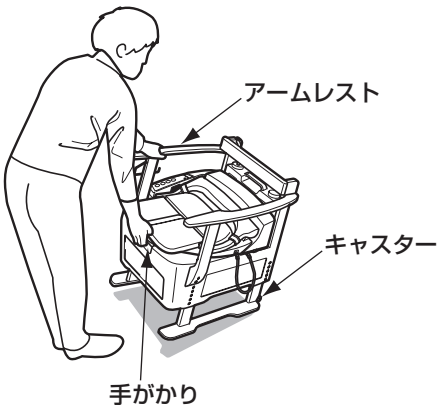
⚠ 警　告

禁止

電源プラグのコードや便座コードを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると火災、感電、ショートの原因になります。

①バケツと防滴トレイの水や汚物を処理してください。

②右図のようにアームレストまたは、前面の手がかりを両手でしっかりと持ち上げ、ゆっくりと移動させます。
※移動させる前に、給水タンクのキャップが2個とも確実に閉まっていることを確認してください。
※ポータブルトイレは約20kgの重量がありますので、移動は介助者の方が行ってください。



⚠ 警　告	
禁止	**人を乗せた状態でいすごと持ち上げたり、移動させない** 転倒したり、破損してけがをする原因になります。

⚠ 注　意	
必ず実行	**商品を移動する際に本体の脚に挟まれないように注意する** けがをする原因になります。
	商品を移動する場合は、バケツと防滴トレイの水や汚物を捨ててから移動する バケツや防滴トレイの水や汚物がこぼれ、床を汚す原因になります。
	敷居などの床段差を越えるときは、商品を持ち上げる 敷居や床を傷めたり、破損の原因になります。

お手入れの仕方

●お手入れの前に、この「お手入れの仕方」をよくお読みのうえ、正しくお手入れしてください。
◎お手入れの際に、各部にゆるみがないか点検してください。いすのボルトがゆるんでいる場合は、付属の六角レンチで増し締めしてください。
◎**お手入れのときには安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。**
※「ノズルそうじスイッチ」機能の使用時は除きます。

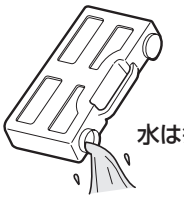
1. 日常のお手入れ

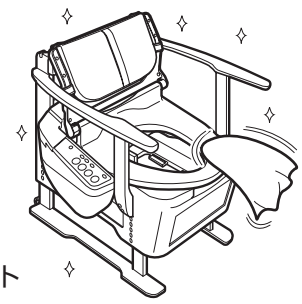
①給水タンクの水を入れ替える。
給水タンクの給水には水道水を使用してください。また、水質悪化を抑えるために水は毎日入れ替えてください。

アドバイス

給水タンクの汚れがひどい場合には、市販の台所用漂白剤（主成分：次亜塩素酸ナトリウム）の指定濃度に希釈し浸け置き洗いをしてください。その後、水で十分に洗い流してください。なお、使用にあたっては台所用漂白剤の取扱要領、注意事項を必ずお守りください。

⚠ 注　意	
禁止	**給水タンクに水道水以外は使用しない、消毒液、薬品、芳香剤などを入れない** 皮膚の炎症などを起こす原因になります。
必ず実行	**ウォシュレットの給水タンクの水は毎日入れ替える** 水質悪化により、皮膚の炎症などをおこす原因になります。





②柔らかい布で水ぶきする
水でぬらした柔らかい布をよくしぼってふいてください。
※ウォシュレット・リモコンはプラスチックでできていますので、乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。
※ウォシュレット・リモコンは電気製品です。内部に水が入らないよう十分気をつけてください。
※洗剤がいすとウォシュレットとの間に残らないように、しっかりとふき取ってください。

アドバイス

・着座センサー窓をきれいにしましょう。汚れていると各機能が作動しません。

⚠ 警　告

禁止

ウォシュレット、電源プラグに水や洗剤をかけない

火災や感電の原因になります。

⚠ 注　意

禁止

お手入れをするときは、薄めた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない

トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナーおよびクレンザー、ナイロンたわしなど

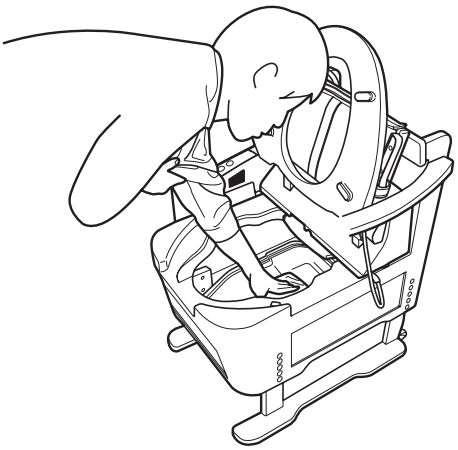
・破損してけがをする原因になります。
・給水ホースを傷め、水漏れの原因になります。

③汚れがひどいときは…

・薄めた台所用洗剤（中性）をふくませた柔らかい布でふき取ってください。
・その後、水ぶきをしてください。

④防滴トレイをふく

・防滴トレイは、バケツで受けきれなかった水や汚水を受け止めるものです。汚物を処理するときにご確認とお手入れを行ってください。
・バケツを取り出し、防滴トレイに落ちている水や汚水を雑巾などでふき取ってください。



⚠ 注　意

禁止

防滴トレイをふくときは体重をかけない

破損してけがをする原因になります。

2. 念入りなお手入れ

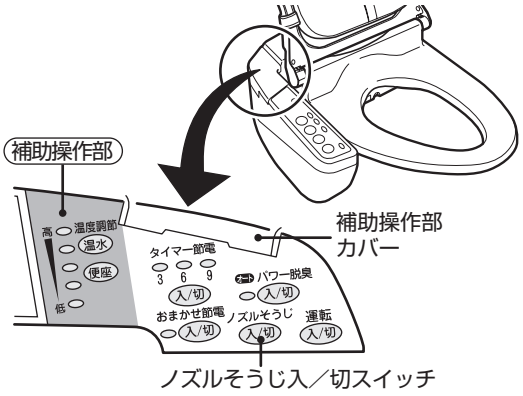
■ノズルのお手入れ

◎お湯を出さずにノズルが伸出しますので、掃除がラクにできます。

①ノズルを出します。

補助操作部の ノズルそうじ 入/切 を押すと、ノズルが出てきます。

このとき、ノズルの根元からお掃除のための水が出ます。



②掃除します。

柔らかい布で水ぶきしてください。

③ノズルを収納します。

もう一度 ノズルそうじ 入/切 を押すとノズルが収納され、自動で洗浄されます。

アドバイス

・ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。
破損や故障の原因になります。
・収納し忘れた場合でも、ノズルは約5分後に自動で収納されます。

■防滴トレイのお手入れ

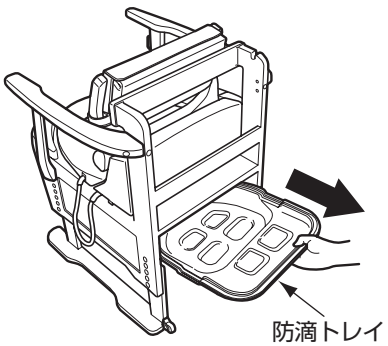
◎防滴トレイは、バケツで受けきれなかった水や小便などを受けるものです。汚物を処理するときにご確認とお手入れを行ってください。
◎防滴トレイは取り外して水で丸洗いができます。目に見えない汚れでも、においの原因となりますので1週間に1回は取り外してお手入れを行ってください。

①バケツを取り出します。
※バケツの取り出し方は、P.14の「2．バケツの着脱方法」をご覧ください。

②本体の後ろから防滴トレイを取り出します。
※防滴トレイの取り出し方は、P.15の「3．防滴トレイの着脱方法」をご覧ください。

③掃除します。
水で丸洗いできます。

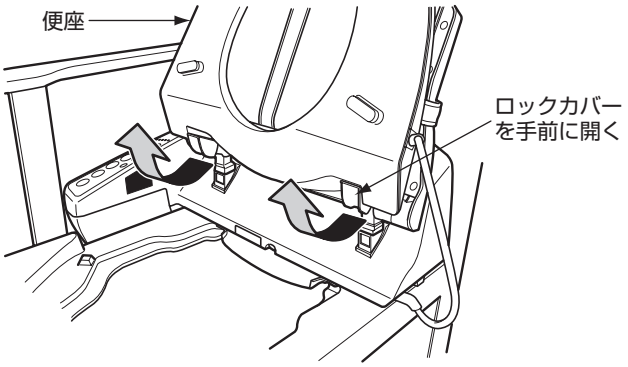
④防滴トレイとバケツを取り付けてください。



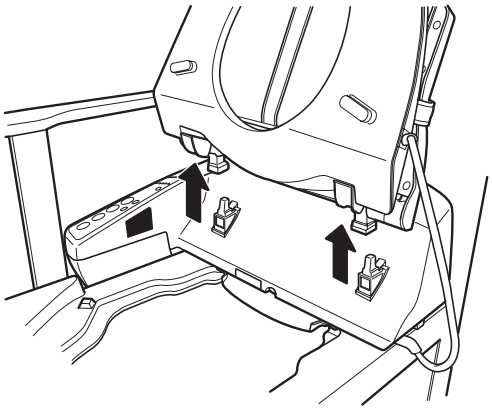
■いす座面のお手入れ

◎いす座面、ウォシュレットの便座は取り外すことができますので、すみずみまで掃除できます。

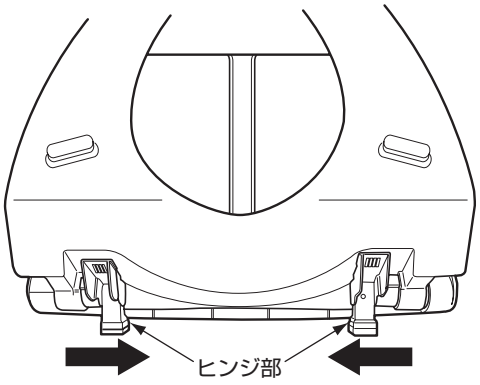
①便座を取り外すために左右のロックカバーを開けます。
左右のロックカバーを手前に開いてください。



②便座を引き上げます。
便座の左右を両手でしっかりと持ち、真上に引き上げてください。
※便座コードは外せません。
※斜めに引き上げたり、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。



③いす座面を取り外します。
左右のヒンジ部を内側にずらします。



④掃除します。
※お手入れはP.27の「1．日常のお手入れ」をご覧ください。
※便座を取り外して掃除するときは、ウォシュレットをいすから取り外さないでください。床に落とし、故障の原因になります。

⑤いす座面を取り付けます。
便座の左右のヒンジ部をいす座面の穴にあわせ、外側にずらします。

⑥便座を取り付けます。
※便座コードがねじれたまま取り付けないでください。

⑦左右のロックカバーを閉めます。
左右のロックカバーを「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。
※便座コードがねじれたまま取り付けないでください。

⚠ 警　告

禁止

電源プラグのコードや便座コードを破損するようなことはしない
傷んだまま使用すると火災、感電、ショートの原因になります。

■いすとウォシュレットとのすき間のお手入れ

◎ウォシュレットをいすから取り外して、いすの上面やウォシュレットの底面も掃除できます。

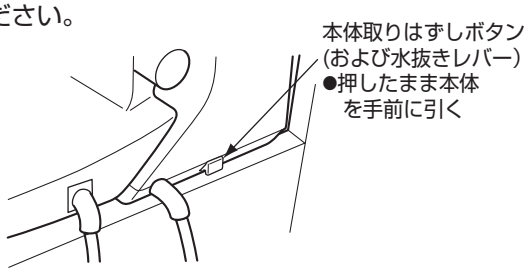
⚠ 警　告

禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因になります。	プラグ抜き励行	**お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く** 感電の原因になります。

①電源プラグを抜きます。

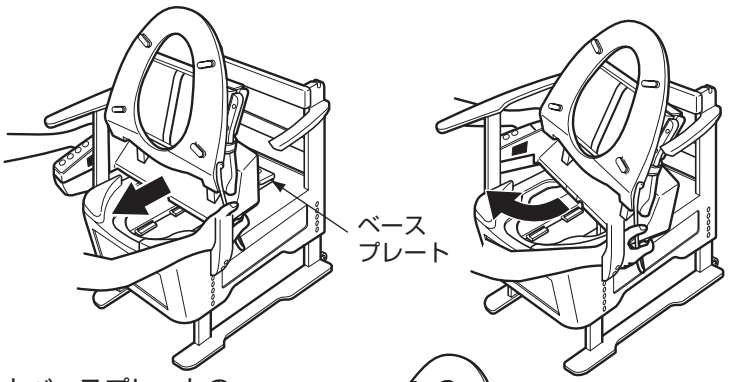
②バケツを取り出します。
※バケツの取り出し方は、P.14の「2．バケツの着脱方法」をご覧ください。

③ウォシュレットを取り外します。
いす座面と便座を跳ね上げた状態で、給水ホースをクランプから外し、ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタン（および水抜きレバー）を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引きます。



アドバイス

ウォシュレットは一旦少し手前に引き出したあと、時計回りに回転させながらウォシュレットの操作部をアームレストの間から抜き出すことにより取り外しやすくなります。それでも取り外しにくい場合は、付属の六角レンチを使用してアームレストを取り外して作業を行ってください。

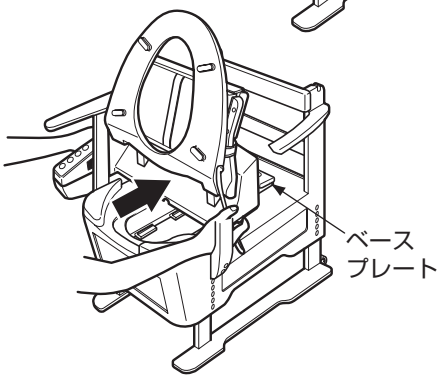


④掃除します。
※お手入れは、P.27の「1．日常のお手入れ」をご覧ください。

⑤ウォシュレットを取り付けます。
便座を跳ね上げた状態で、ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心をあわせ、「カチッ」と音がするまで、確実に押し込んでください。
※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。

アドバイス

ウォシュレットが取り付けにくい場合は、タンクを取り外して作業を行ってください。



⑥給水ホースをクランプに通して固定します。

⑦電源プラグを差し込みます。
電源プラグの「切表示」ランプが消灯していることを確認します。
※「切表示」ランプが点灯しているときは「入（リセット）」ボタンを押すと「切表示」ランプが消灯します。
詳しくは33ページの「3．電源プラグのお手入れと点検」をご覧ください。
※電源プラグを差し込み、リセットボタンを押すと自動でウォシュレットのノズルが出てきますが、異常ではありません。

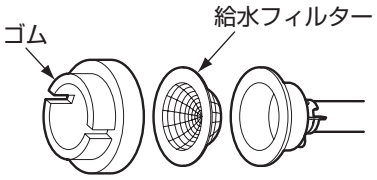
⚠ 注　意

禁止	**給水ホースに傷をつけない** 水漏れの原因になります。

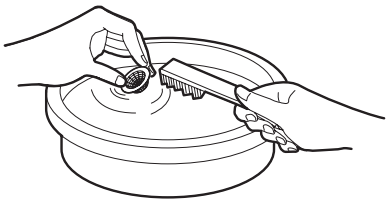
■給水フィルターのお手入れ

◎おしり・ビデ洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルターの掃除を行ってください。

①給水タンクから給水フィルターを取り出します。
・給水タンクから給水ホースを取り出します。
・給水ホースの取り出し方は、P.16の「4．給水方法」をご覧ください。
・給水口のゴムを外し、中の給水フィルターを取り出します。
※給水ホースに残っている多量の水がこぼれてくることがありますので、タオルなどで受けてください。



②給水フィルターを取り出して掃除します。
給水フィルターに詰まったゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。



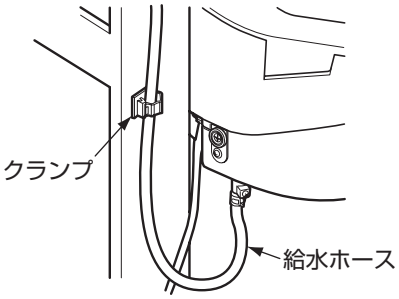
③給水口に給水フィルターを組み込みます。

④給水ホースを給水タンクに差し込み、キャップをカチッと音がするまでしっかり押し込みます。

⚠ 注　意

禁止

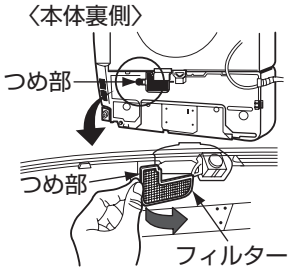
給水ホースに傷をつけない
水漏れの原因になります。



■脱臭フィルターのお手入れ

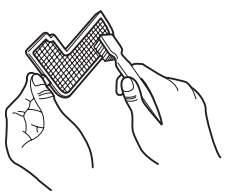
◎ウォシュレット本体を取り外してから脱臭フィルターのお手入れを行ってください。
※ウォシュレットの取り付け方、取り出し方は、P.31の「いすとウォシュレットとのすき間のお手入れ」をご覧ください。

①脱臭フィルターを取り外します。
脱臭フィルターの左側にあるつめ部を指で押しながら、手前に引き出してください。



②掃除します。
脱臭フィルターに付着したホコリを歯ブラシなどで取り除いてください。

③脱臭フィルターを取り付けます。
「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。

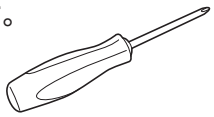


アドバイス

・脱臭フィルターは水洗いできますが、再度取り付ける前に水気を取ってください。
・脱臭フィルターの汚れ、目詰まりがひどい場合には、交換をおすすめします。

■ベースプレートと水受け板のお手入れ

プラスドライバーが必要です。



◎ベースプレートや水受け板を取り外すことができますので、すみずみまでお掃除できます。

①ウォシュレットを取り外します。
※ウォシュレットの取り付け方、取り出し方は、P.31の「いすとウォシュレットとのすき間のお手入れ」をご覧ください。

②ベースプレートを取り外します。
※ベースプレートを固定しているボルトをプラスドライバーでゆるめ、ベースプレートを取り外します。

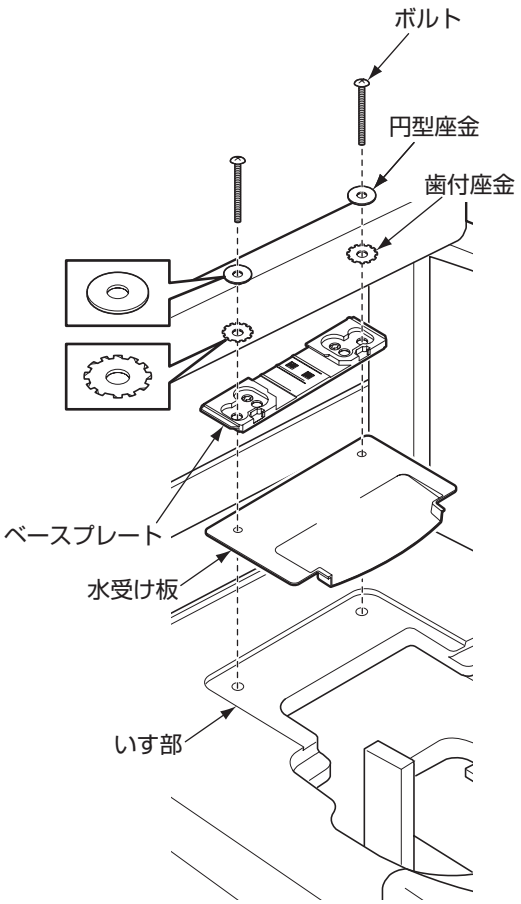
③水受け板を取り外します。

④お掃除します。
※柔らかい布で水ぶきしてください。
※洗剤を使う場合は、台所用中性洗剤をご使用ください。

⑤水受け板をいす部に載せます。
※水受け板の穴がいす部の穴に合うように載せてください。

⑥水受け板の上にベースプレートを載せます。
※ベースプレートの穴が水受け板の穴に合うように載せてください。
※ベースプレートの前後方向にご注意ください。

⑦右図のように歯付座金と円型座金を載せて、ボルトでしっかりと固定します。
※歯付座金は歯が出ている方がベースプレート側（下側）です。



3. 電源プラグのお手入れと点検

◎電源プラグは月に1回程度、正常に作動することを確認してください。

⚠ 警　告

必ず実行

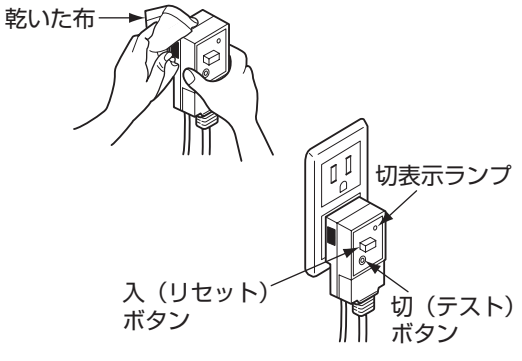
電源プラグの刃などについたホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む
火災や感電の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

①電源プラグを抜きます。

②掃除します。
電源プラグの刃などに付いたホコリを乾いた布で取り除いてください。

③電源プラグを差し込みます。

④点検します。
・「切（テスト）」ボタンを押すと「切表示」ランプが点灯します。
・「入（リセット）」ボタンを押すと「切表示」ランプが消灯します。
・以上のように作動すれば正常です。



アドバイス

・「切（テスト）」ボタンを押すとタイマー節電が「切」になります。再度設定し直してください。
・おまかせ節電は、その日の節電運転がはたらかない場合がありますが、翌日からは設定通りにはたらくようになります。

4. 長期間使用しないとき

◎長期間使用しないときは水を抜き、電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 注　意

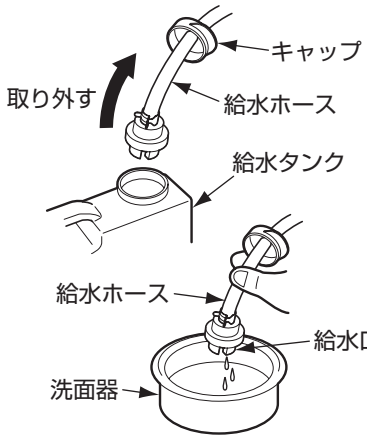
必ず実行

長期間使用しないときは水を抜き、電源プラグを抜く
再使用するとき、水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因になります。

凍結による破損の予防を行う
凍結すると給水ホースやウォシュレット内部が破損して、水漏れする原因になります。

①電源プラグを抜きます。

②給水タンクから給水ホース内の水を抜きます。
・給水タンクは取り外し、中の水を抜きます。
・給水ホースはクランプから外し、給水口を下に向け、給水ホースを手で何度か押しつぶすと中の水が出てきます。
※給水ホースに残っている水は洗面器などで受けてください。



③ウォシュレットを外します。
・いす座面と便座を跳ね上げ、バケツを取り付けます。
※いす座面の跳ね上げ方は、P.14の「1．いす座面の跳ね上げ方法」をご覧ください。
※バケツの取り付け方は、P.14の「2．バケツの着脱方法」をご覧ください。
・本体取りはずしボタン（および水抜きレバー）を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引きます。

④ウォシュレット内の水を抜きます。
・本体取りはずしボタン（および水抜きレバー）を引くと、ウォシュレット内の水（約1.2リットル）が出てきます。水は必ずバケツで受けてください。水が完全に抜けるまで3分ほどかかります。
※本体取りはずしボタン（および水抜きレバー）は水抜きのとき以外は引かないでください。
※ウォシュレットには給水タンクとは別に温水を貯めるためのタンクを内蔵しています。

※本体取りはずしボタンは水抜きレバーと兼用です。

⑤保管をします。
※室温0～40度の部屋で保管してください。

⚠ 注　意

禁止

給水ホースに傷をつけない
水漏れの原因になります。

■再度使用するとき

◎お手入れと機能の確認を行ってからご使用ください。
※お手入れは、P.27の「お手入れの仕方」をご覧ください。
※確認は、P.7の「ご使用前の準備と確認」をご覧ください。

故障かな?と思ったら

●「故障かな?」と思ったら、まずこの章をご覧になり、処置方法をためしてみてください。それでも直らないときは、「アフターサービス」の章(38ページ)をよくお読みのうえ、販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

■ウォシュレット全機能

現　象	原　因	処　置
全く作動しない	停電したりブレーカーが切れていませんか。	停電が復帰するまでお待ちください。またブレーカーを「入」にしてください。
	電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入（リセット）」ボタンを押してください。 ☞33ページ
	操作部の「運転」ランプが消灯していませんか。	補助操作部の 運転 入/切 を押してください。 ☞12ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートから外れていませんか。	ウォシュレット本体を一度外してもう一度ベースプレートに取り付けてください。 ☞31ページ
洗浄音が大きい	ウォシュレット付ポータブルトイレはポンプで給水する構造のため、ウォシュレットご使用時に、ポンプ動作音と振動が発生します。故障ではありません。	――

■おしり・ビデ洗浄

現　象	原　因	処　置
洗浄水が冷たい	温水温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	補助操作部の 温水 で調節してください。 ☞20ページ
洗浄水が出ない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞36ページ
	給水ホースがつぶれていませんか。	給水ホースをつぶさないようにしてください。
	給水タンクが空になっていませんか。	給水タンクに給水してください。 ☞16ページ
洗浄水勢が弱い	給水フィルターにゴミが詰まっていませんか。	給水フィルターを掃除してください。 ☞32ページ
洗浄水が途中で止まった	おしり やわらか または ビデ を押してから、約5分後に自動で止まります。	再度 おしり やわらか または ビデ を押してください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞36ページ
	給水タンクのキャップが印からずれていませんか。	印の位置にホースを戻してください。 ☞16ページ

■暖房便座

現　象	原　因	処　置
便座があたたかくならない	便座温度の設定が「切」、または低くなっていませんか。	補助操作部の 便座 で調節してください。 ☞20ページ

■暖房便座つづき…

現　象	原　因	処　置
便座があたたかくならない	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座るとヒーターが入り約15分であたたかくなります。
	おまかせ節電中になっていませんか。	便座に座ると一時的にあたたかくなります。
便座がだんだん冷たくなる	便座に座ると20分後から徐々に温度を下げ、約1時間後に自動でヒーターを切って低温やけどを防止するように設定されています。便座から離れるとヒーターが入り、便座をあたためます。故障ではありません。	―
便座が冷たい	操作部側面の着座センサーが覆われていませんか。	操作部側面の着座センサーを覆わないようにしてください。

■ソフト閉止

現　象	原　因	処　置
夏と冬で閉まる速さが変わった	室温変化や使用頻度によって速さが変わります。故障ではありません。	―

■着座センサー

現　象	原　因	処　置
便座に座っていないのにスイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などを取り除いてください。
便座に座っているのにおしり洗浄や脱臭機能が作動しない	座り方、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。	座り方をかえたり、衣服を少し持ち上げて肌を検知するようにしてお使いください。
	衣服で着座センサーがおおわれていませんか。着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	衣服またはゴミや水滴などを取り除いてください。

■脱臭

現　象	原　因	処　置
便座から離れると脱臭の音が大きくなる	はじめは パワー脱臭 入/切 が「入」になっています。オートパワー脱臭は離座後、吸い込む力をアップさせて脱臭するように設定されています。 故障ではありません。	―
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ☞上記

■脱臭つづき…

現　象	原　因	処　置
あまりにおいがとれないときがある	脱臭フィルターが詰まっていませんか。	脱臭フィルターを掃除してください。☞32ページ
脱臭が勝手に作動した	掃除時など、着座センサーが着座状態を検知して脱臭が作動することがあります。 故障ではありません。	―

■節電機能

現　象	原　因	処　置
おまかせ節電スイッチを入れても節電しない	ポータブルトイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2～3日かかります。	―
	同じ時間帯に週3回程度お使いになると節電しないことがあります。 故障ではありません。	―
正しい時間に節電しない	電源プラグを抜いたり、停電していませんか。 (設定時間がずれることがあります)	・タイマー節電は「入」にしてください。(電源が一度切れると「タイマー節電」ランプが点滅してお知らせします。) ・おまかせ節電は翌日から通常通り作動するようになります。

■その他

現　象	原　因	処　置
ウォシュレット本体がガタつく	ウォシュレット本体を固定しているベースプレートのボルトがゆるんでいませんか。	ベースプレートのボルトを増し締めしてください。(締め過ぎによるボルトの破損に注意してください)
いすがガタつく	高さ調整脚、アームレスト、ショートグリップを固定しているボルトがゆるんでいませんか？	付属の六角レンチでボルトを増し締めしてください。
防滴トレイから水があふれ床がぬれる	防滴トレイが満水になっていませんか。	防滴トレイの水を処理してください。☞29ページ
	防滴トレイ、バケツ、水受け板が正しく装着されていますか。	防滴トレイ、バケツ、水受け板を正しく装着してください。☞14・15ページ

アフターサービス

【修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.35)をご確認ください!】

保証書（この説明書のP.46が保証書になっています）

●この商品は保証書の内容に従って保証されています。購入日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

●保証期間中は

保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付ラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
→「修理を依頼されるときは」「修理料金について」(P.39)をご確認ください。

部品の交換について

無料修理により取り外された部品・商品はTOTO株式会社の所有となります。

補修用性能部品の供給期間

この商品の補修用性能部品（機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの）の供給期間は製造中止後6年です。

補修用性能部品・消耗品のお求めは

補修用性能部品・消耗品のお求めは、**TOTOメンテナンス(株)**にお問い合わせください。

TOTOメンテナンス(株)　TOTOパーツセンターへ

TEL 0120−8282−55
FAX 0120−8272−99

受付時間：平日　9:00〜18:00
土・日・祝日　10:00〜18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

携帯電話・PHSからのご利用は・・・093−952−8682（有料）へ

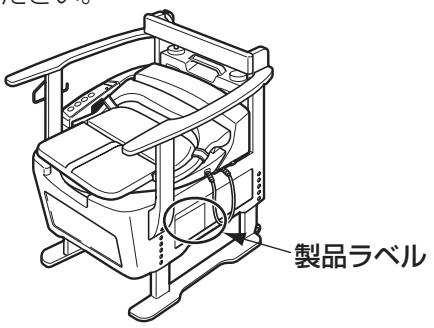
インターネットでのご注文
http://www.toto.co.jp/

修理を依頼されるときは

【修理依頼先】
お求めの販売店または**TOTOメンテナンス(株)**
修理受付センター

【ご連絡いただきたい内容】
①住所、氏名、電話番号
②商品名　③品番　④購入日
⑤故障内容、異常の状況
⑥訪問希望日

品番は○部分に貼っているラベルでご確認ください。



【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】
「TOTO(株)お客様相談室」または**「TOTOメンテナンス(株)修理受付センター」**

修理料金について＜TOTOメンテナンス(株)にご依頼の場合＞

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理をさせていただきます。

標準修理料金は **技術料** ＋ **部品代** ＋ **訪問料** で構成されています。

ただし、補修用性能部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。

重大事故防止のためのお願い

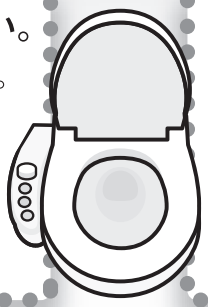
温水洗浄便座は電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したままで使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店またはメーカーへご連絡ください。



定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。
使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店またはメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

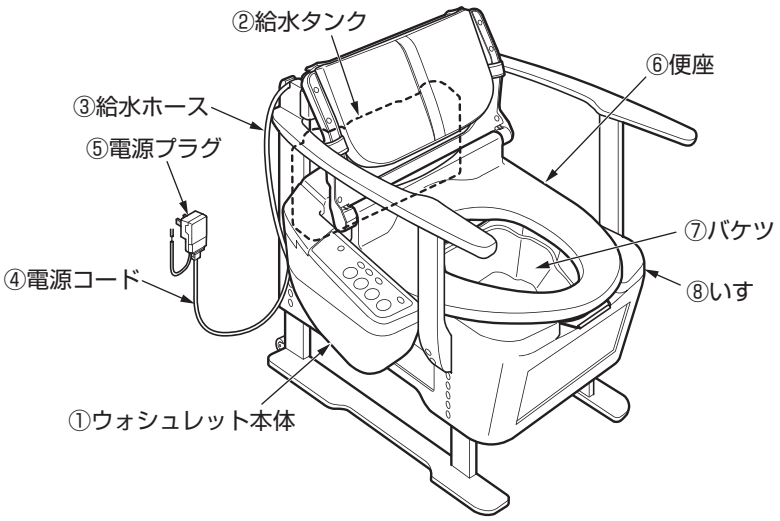
電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

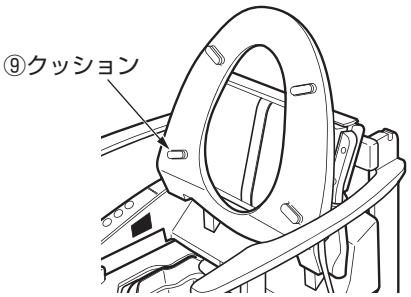
※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

一般社団法人 **温水洗浄便座工業会** http://www.sanitary-net.com 後援 **経済産業省**

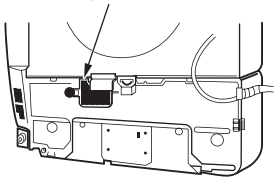
定期的な点検

商品の長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、商品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様自身による以下の点検を実施頂きますようお願いします。





<ウォシュレット裏側>



点検項目	点検部位（商品図を参照）		具体的事象（危害情報等）	点検目安	実施日（年／月／日）		
ひび割れ・欠け・ガタツキ・変色、部品の欠落がありませんか？	ウォシュレット本体・給水タンク・便座・バケツ・いす全体・クッション	①②⑥⑦⑧⑨	ケガ、火災、感電、水漏れなど	年1回以上	/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /
傷み・はさみ込み・つぶれ・折れ曲がりがありませんか？	給水ホース・電源コード	③④	火災、感電、水漏れなど	年1回以上	/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /
電源プラグに接触していませんか？	給水ホース	③	火災、感電など	年1回以上	/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /
異常に熱かったり、異常音・異臭がありませんか？	ウォシュレット本体・電源コード・電源プラグ・便座	①④⑤⑥	やけど、火災、感電、水漏れなど	年1回以上	/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /
正常に作動していますか？（洗浄・脱臭など）	ウォシュレット本体・便座	①⑥	ケガ、火災、水漏れなど	年1回以上	/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /
ほこり付着がありませんか？	電源プラグ・脱臭フィルター	⑤⑩	ケガ、火災など	月1回	/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /
水漏れがありませんか？	ウォシュレット本体・給水タンク・給水ホース・バケツ	①②③⑦	感電、水漏れなど	年1回以上	/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /
固定ボルト・ナットに緩み・ぬけ・腐食がありませんか？	いす全体	⑧	ケガなど	年1回以上	/ /	/ /	/ /
					/ /	/ /	/ /

仕様・補修用性能部品

項目			内容
品番			EWR290/EWRS290
定格電源			交流100V　50/60Hz
定格消費電力			412W
1時間当たりの標準消費電力量※1			約33Wh
電源コードの長さ			1.0m（漏電保護プラグ付）
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄	約0.35～0.9L/min
		やわらか洗浄	約0.4～0.9L/min
		ビデ洗浄	約0.45～1.0L/min
	吐水温度		温度調節範囲　切、約30～40℃（5段階切替）
	吐水時間		約4分（給水タンク満水、水勢最大時）～5分
	ヒーター容量		350W
	タンク容量		約1.2L
	安全装置		温度ヒューズ、温度過昇防止器、空焚き防止フロートスイッチ
	逆流防止装置		バキュームブレーカー
暖房便座	表面温度		温度調節範囲　切、約30～40℃（5段階切替）
	ヒーター容量		50W
	安全装置		温度ヒューズ
脱臭装置	方式		O_2脱臭
	風量		標準モード：0.09m³/min、パワーモード：0.16m³/min以上
給水温度			0～35℃
給水タンク容量			約3.5L
バケツ容量			約9.0L
周囲使用温度			0～40℃
商品寸法			幅575mm、奥行645mm、高さ645、670、695、720、745mm(5段階選択)
便座面高さ			床面＋350、375、400、425、450mm（5段階選択）
アームレスト高さ			便座面＋200、225mm（2段階選択）
商品質量			約20kg
材質	いす本体		天然木(ラバーウッド集成材:ホルムアルデヒド発散区分F☆☆☆☆相当)
	給水タンク、キャップ		ポリエチレン
	バケツ、バケツふた		ポリプロピレン、ステンレス、シリコン
	水受け板、防滴トレイ		ポリスチレン
	背もたれ、いす座面		合板、発泡ウレタン、塩化ビニルレザー、ポリプロピレンほか
	ウォシュレット		ポリプロピレンほか
	ペーパーホルダー		ステンレス
	リモコン		ABS樹脂 ほか

※1：12回/日の使用を想定した場合の年間平均
※この商品は日本国内専用品です。

○ **抗菌**

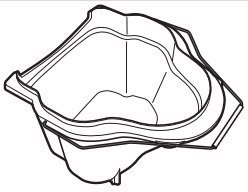
抗菌効果	商品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA登録試験所で実施し、その結果が JIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。
抗菌加工部位	暖房便座、ノズルヘッド、操作部（表面シート）
抗菌剤の種類	無機系（銀）
抗菌性能持続性	（一社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
安全性	（一社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
禁止事項	酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、商品の表面はよく清掃された状態に保ってください。

※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。

■補修用性能部品

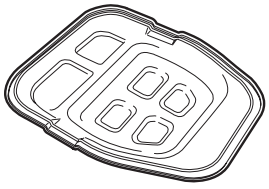
仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

○バケツ
品　番：EW41159R
希望小売価格：￥2,500(税込￥2,625)

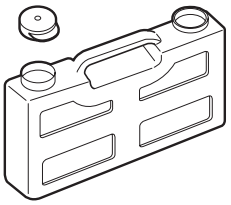


○バケツふた
品　番：EW41160
希望小売価格：￥1,000(税込￥1,050)

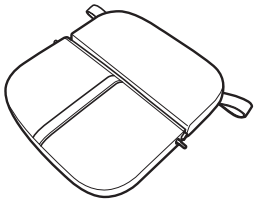
○防滴トレイ
品　番：EW41162
希望小売価格：￥1,000(税込￥1,050)



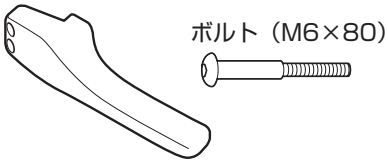
○給水タンク
品　番：EW41163
希望小売価格：￥2,100(税込￥2,205)



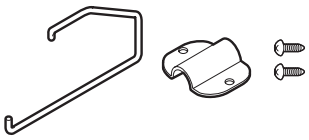
○いす座面
品　番：EW41165
希望小売価格：￥5,000(税込￥5,250)



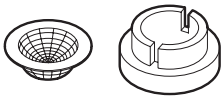
○ショートグリップセット
品　番：EW94113
希望小売価格：￥5,100(税込￥5,355)



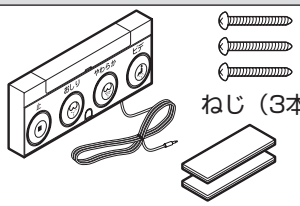
○ペーパーホルダーセット
品　番：EW21166
希望小売価格：￥1,000(税込￥1,050)



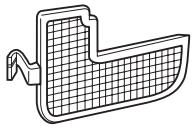
○取水口
品　番：EW23008
希望小売価格：￥600(税込￥630)



○らくらくリモコンセット
品　番：EWRP290
希望小売価格：￥8,000(税込￥8,400)



○脱臭フィルター
品　番：D45339R
希望小売価格：￥30(税込￥32)



TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターでご購入の場合

■お届けについて

ご注文から2週間以内に宅配便でお届けします。
※ご注文が集中し、商品の品切れによりお届け日が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。またお届けが大幅に遅れる場合は、お届け予定日をご連絡いたします。

■お支払いについて

1回のご注文額	送　料
10,000円（税別）以上の場合	無　料
10,000円（税別）未満の場合	500円（税込525円）

お届けした宅配業者に、商品代、送料、消費税相当額をお支払いください。

（2012.9現在）

■返品・交換について

交換部品の不良などによる返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOパーツセンターまでご返送ください。送料はTOTOパーツセンターが負担し商品を送付させていただきます。
お客様のご都合による返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOパーツセンターまでご返送ください。なお送料はお客様負担となりますのでご了承ください。お客様の元で、汚れたり破損した商品や、一度ご使用になられた商品の返品、交換はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

MEMO

TOTO®

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取付日／ご購入日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、取付店／販売店、またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センター（TEL 0120−1010−05　FAX 0120−1010−02）に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ　様
	おところ　〒
取付店／販売店	〒 印 電話　−
取付日／ご購入日	年　月　日

商品名	ウォシュレット付 ポータブルトイレ	
品番	EWR290／EWRS290	
保証期間	いす部 ご購入日から2カ年	ウォシュレット部 ご購入日から1カ年
保証用途	一般住宅用	

★お客様へ

・この保証書をお受け取りになるときに、取付日／ご購入日、取付店名／販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。

・保証期間中でも、次の場合は有料修理になります。
（1）上記用途以外で使用した場合の不具合。
（2）適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
（3）弊社が定める施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
（4）建築躯体の変形などに起因する商品の不具合。
（5）塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
（6）金属の腐食しやすい環境（海岸付近、温泉地など）に起因する不具合。
（7）ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、動物や昆虫の死骸が本商品内に残留することなどに起因する不具合。
（8）火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または破壊行為による不具合。
（9）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合。
（10）部品（乾電池など）の消耗による不具合。
（11）日常のお手入れ箇所（フィルターなど）や水抜栓などのOリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
（12）砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
（13）水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
（14）凍結に起因する不具合。
（15）本書の提示がない場合。
（16）本書にお客様名、取付日／ご購入日、取付店名／販売店名、扱者印の記入のない場合。

・部品の交換について
無料修理により取り外された部品・商品は、TOTO株式会社の所有となります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにお問い合わせください。

TOTO株式会社
〒802-8601　福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
お客様相談室　TEL 0120-03-1010　FAX 0120-09-1010

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.35)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店　　〒

電話　　ー

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口

商品のお問い合わせは

TOTO（株）お客様相談室へ
TEL **0120-03-1010**
FAX **0120-09-1010**
受付時間：9:00～17:00 （夏期休暇・年末年始を除く）
※携帯電話・PHSからのご利用は…**093-951-2526**（有料）へ

修理のご用命は

安心・信頼の TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ
ホームページ　http://www.tom-net.jp/
TEL **0120-1010-05**
FAX **0120-1010-02**
受　　付：年中無休
受付時間：8:00～19:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：9:00～18:00
※携帯電話(PHSは除く)からのご利用は … ナビダイヤル **0570-05-1010**（有料）へ

交換部品・別売品のご購入は

TOTOメンテナンス（株）TOTOパーツセンターへ
TEL **0120-8282-55**
FAX **0120-8272-99**
受付時間：平日 9:00～18:00　土・日・祝日 10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）
※携帯電話・PHSからのご利用は…**093-952-8682**（有料）へ

お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。
詳細はTOTOホームページをご覧ください。

愛情点検	長年ご使用のウォシュレットの点検を！			
	こんな症状はありませんか？	●水漏れする（配管接続部、ウォシュレット本体） ●ウォシュレット本体や便座にひびや割れが入っている ●異常な音やこげ臭いにおいがする ●電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりする ●電源プラグや電源コードが異常に熱い ●ウォシュレット本体や操作部が異常に熱い ●その他の異常や故障がある	ご使用中止	このような症状のときは、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、必ずTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご相談ください。 ※異常・故障状態のままのご使用は、火災、感電、室内浸水の原因になります。

この印刷用版下データは、重度障がい者多数雇用企業サンアクアTOTO（株）で作成しました。
「TOTOグループ」は障がい者雇用の推進に努力しております。

TOTO株式会社
TOTOホームページ　http://www.toto.co.jp/
2012.9
EWP01064RS